新京日日新聞
夕刊
四月二十三日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本一男 印刷人 水越内之介

アヂスアベバは未だ占領せられず
伊北軍の進擊說をエ國政府否定
併し伊軍は續々迫る

【アヂスアベバ廿一日發國通】エチオピア政府當局はイタリー北軍がエチオピア軍を擊破して首都アヂスアベバ眞近まで肉迫し來つたとの報道を否定し、廿一日左の如く聲明した

パドリオ伊軍總司令官は聯盟の對伊制裁强化が目下のところ沙汰止みとなつた事情に鑑み急激に首都進擊の最捷路はデッシエ街道であるが此處にはエチオピア軍が旺んに增援されて居るから容易に擊破されるとは解されないがイタリー軍は不意打的に他の街道より首都進擊の擧に出るのではないかと思はれる節もある

【ローマ廿二日發國通】確報に依ればパドリオ元帥麾下のイタリー北軍は破竹の勢をもつてデッシエ街道を南進、前哨部隊は廿二日既にアヂスアベバ北方九十五哩の地點に迫り主力軍二萬も空軍部隊、裝甲自動車隊の掩護下に無抵抗裡に南進を續けつつある、一方グラチアニ將軍麾下の南軍部隊も豪雨をついてアヂスアベバを目指して既に百五十キロの地點迄前進したと云はれる

首都防備を皇太子に一任
皇帝前線に御出動

【アヂスアベバ二十二日發國通】エチオピア皇帝ハイレセラシエ一世は首都の防備及び政務を皇太子クオッセン殿下に一任自らは國軍主力部隊を率ひてデッシエ南方七十哩のワラハイルの前線に御出動、イタリー軍前線部隊邀擊の堅陣を展開された、目下皇帝の親衞軍はワラハイル山嶽地帶海拔九千呎の高地に據り最後の決戰に備へてゐる

エ國皇太子
アヂスアベバ御歸還

(アヂスアベバ廿二日發國通)エチオピア皇太子アスハブ・クオッセン殿下には廿二日午前デッシエ南方前線よりアヂスアベバに歸還、皇帝ハイレセラシエ一世の命令により直ちに大本營を設置し、最高政務を主裁せられる事となつたクオッセン殿下は軍政一切を掌握し首都を死守する御決意と解される

協和會訪日團

【東京國通】滿洲國建國以來の日本の好意に感謝するため陽春の帝都を訪れた財界關係の有力者からなる滿人團體協和會日本視察團四十數名は廿二日朝東京驛着神田今城館に一旦落着いた上引率者松川氏に伴はれて宮城遙拜の後陸海外文部各省を訪れ挨拶をなし拓務省では茶話會を開いて歡迎された、午後は更に對滿事務局、府廳及び滿洲國大使館などを歷訪同樣挨拶をなした

日埃民間代表全部引揚げ

【大阪國通】エヂプト側の不誠意から日埃會商の前途に見切りをつけた我綿業團では代表の引揚げを行ふ事となり、聯合會及棉花同業會は廿二日午後二時綿業會館で聯合特別委員會を開催協議の結果財界の紡聯代表に對し即日引揚げ方を打電した、尙綿工聯は既に廿一日代表の引揚げ命令を發したので此處に海路民間代表全部の引揚げを見る事となつた

衆議院議長は
富田幸次郎氏有力

【東京國通】五月一日召集の特別議會に於ては同日先づ衆議院の議長、副議長の選擧が行はれるが、先般の總選擧で民政黨は第一黨を占めるに至つたので議長は當然民政黨より選出される筈で町田總裁始め黨首腦部は目下その人選に就き考慮中である、而して黨内に於ては富田幸次郎、小泉又次郎、小山松壽の諸氏が下馬評に上つてゐるが右の中富田氏が議長候補として最も有力で多分同氏に落着くであらうと觀られてゐる、又副議長は第二黨たる政友會から選ばれる事となり岡田忠彥氏が最も有力である

今村少將
輜重兵監に親補

【東京廿二日發國通】佐々木輜重兵監逝去に伴ふ後任は廿二日左の如く親補された

輜重兵監部附 陸軍少將 今村基成
補輜重兵監

特別議會を前に
陸軍首腦部協議

【東京國通】特別議會が切迫したので陸軍では廿二日午後陸相官邸に寺内陸相、梅津次官以下各局課長議會關係官參集し對議會策につき協議會を開き陸軍關係諸問題に關する答辯資料に就き重要打合せを行つた、今回の議會では陸軍としては二・二六事件をはじめ

一、永田事件相澤中佐の公判問題
一、十一年度追加豫算内容
一、十二年度以降國防充實計畫
一、國際情勢(滿ソ蒙國境紛爭問題、北支問題)に對する軍の見解
一、國政一新に關する軍部の意圖

等について貴衆兩院より相當深刻な質問が行はれるものとしてこれが諸對策を協議したが二・二六事件については裁判進行中の事項並に特定個人に關することを除き出來るだけ詳細に事件の眞相を說明し陸軍がこの事件を契機として徹底的肅軍の實現を期し邁進しつつある熱意を披瀝してこの非常時局を切拔けるため官民一致國政一新に關し眞摯の努力を爲すことを要望することゝなつた

治廢後の對案につき
全滿居留民會協議
午後は愈よ本會議に入る

本年七月一日から實施される在滿邦人に對する課稅輕減期間延長並に治外法權撤廢後に於ける在滿邦人の諸問題を當局に陳情請願する原案を決定する全滿日本居留民會長會議は二十三日午前十時から新京記念公會堂に於て開催された、出席者は

奉天居留民會長野口多内、ハルビン牛木寬三郎、新京淸水豐太郎、吉林稻村峯一、チチハル小笠原俊三、錦州濱口英雄、龍井下條幸太郎、通遼光井與四郎、黑河(評議員)竹中保三、圖們(會長)中島信太郎、洮南佐々木彥七郎、索倫渡邊哲夫、安達站在川行三、新站市木善吉、承德中川平治、鐵嶺本田正、延吉牧潤、ハイラル脇坂正之、鄭家屯平尾鎰太郎、鮫河成瀨茂、白城子緒方勘太郎、王爺廟(評議員)野口新太郎、掏鹿(會長)齋藤捨三、北票(理事)福田謙治、遼陽(會長)林禮吉、琿春花岡太郎、西安(評議員)栗原喜四郎の諸氏、其他大使館、關東軍滿洲國各關係官廳等五十餘名出席、定刻野口常任幹事開會の辭を述べ議長選擧は選擧をなさず廿二日夜常任幹事會にて決定した新京居留民會長淸水豐太郎氏を推す事に承諾を求め全會一致同氏を議長に推し淸水氏議長席につき一場の

挨拶

の後ハイラル、通遼、チチハル錦州、ハルビン、新京、奉天より提出した議案を奉天、ハルビン、新京、錦州、吉林五常任幹事にて整理する事とし午前の日程を終了した、午後は一時から開會大使館山本書記官の說明ありていよ〳〵本會議に入る筈である

國有林の合理的經營
第三回森林事務打合會
けふから六日間實業部で

滿洲國國有林事業特別會計制度を創設し林野官民有の區分施業案の編成、官行斫採事業の實施、森林鐵道の敷設其他國有林の合理的經營を益々强化するため二十三日より六日間に亘り實業部會議室に於て第三回森林事務打合會を開催本部側より丁大臣、高橋總務、松島農務、岸林務三司長、藤井庶務、山本會計、林林政、靑山林業各科長及全國森林事務所長、關東軍村上顧問、中央治安維持會洪中佐、民政部大島總務、竹内司法兩科長其他總務廳主計處、監察院審計處、財政部、蒙政部、國道局より各關係係官出席

第一日は午前九時半より實業部大臣訓示、岸林務司長說示關東軍村上顧問及民政部大島總務科長の講演あり午後は諮問事項答申に入つた

丁大臣訓示

玆に第三回森林事務所長會議を開催するに當り所懷の一端を述ぶるを得るは本大臣の最も欣快とする處なり

抑森林は一國產業上は勿論國民精神の涵養、國防、國土保安上重大なる關係あるを以て國有林の經營は須らく之が保續培殖に努め林利の永久保續を計ると共に其の公益的使命を全ふするを要す政府は建國以來此の方針の下に從來紛淆を極めたる林場權の整理或は森林施業の改善等之が整備に努めつつあり各位は治安未だ肅正せられざる僻遠の地に在りて能く中央の方針を體し集團伐採の實施或は森林犯罪の防止其の他國有林野の管理經營に日夜盡瘁せられ爲之國有林の施業は從前に比し面目を一新したるのみならず集團伐採の實施に就ては各關係機關と協力治安工作上にも多大の效果を收め國有林經營の基礎愈鞏固の度を加へつゝあるは國家の爲實に同慶に堪へざる處にして各位の辛勞に對し玆に深甚の謝意を表す

建國以來の懸案たりし主要國有林に對する伐採要綱は這般日滿經濟共同委員會に附議其の決議を經本年度より國有林事業特別會計制度を創設し施業案の編成官行斫伐事業の實施森林鐵道の敷設其の他本格的國有林の合理的經營に着手せんとす此等の事業の成否は一に各位の努力の如何に在り

且つ又滿洲國林政の整備確立も本事業成績の如何に重大の關係を有するものなるを思ひ一層の努力を希望す

國有林の合理的經營は其の緒に付きたるに過ぎず各位は小成に安んぜず勇猛心を振ひ部下を督勵し綱紀の肅正を計ると共に上下一體となり各種事業の運營に當り又本會議に本部並各位の提案せられたる主要事項に就ては充分なる協議を遂げ以て國有林經營の目的達成に邁進せられんことを切望して止まず

聊か所懷を述べて訓示とす

人事往來

▲海村理事官(濱江省公署)二十三日午前ハルビンへ
▲松井少佐　同午前奉天より
▲中島中佐　同
▲酒井少佐　同
▲細見中佐　同公主嶺より
▲長谷川泰造氏(滿鐵經調)
▲廿三日午前來京國都ホテル
▲高俊虎雄氏(同)同
▲長島敏弘氏(曹達晒粉同業會理事)同
▲石川一郎氏(大日本人造肥料常務取締役)同
▲小山萬司氏(同參事)同
▲薄田精氏(羅津港株式會社)同
▲奧平廣敏氏(ハルビン交易所常務理事)同
▲石川忠三郎氏(營口航政局)同
▲田中稻夫氏(大連機械製作所)同
▲小柳軍憲氏(實業家)同
▲鈴木啓正氏(鐵工業)同大連へ
▲利行睦生氏(西安炭坑監事)同奉天へ
▲山本駒太郎氏(西安炭坑公司)同
▲中野琥逸氏(吉林省公署總務廳長)廿三日午前双陽へ
▲二本松欣一氏(日本赤十字社)廿二日午後來京國都ホテル
▲奧津三郎氏(滿洲鹽業)同
▲甲斐喜八郎氏(日本鹽業)同
▲德川守氏(國際電氣取締役)同奉天へ
▲矢野道也氏(内閣印刷局技師)同午前來京名古屋ホテル
▲白石亞細亞丸氏(同技師)同
▲太田常郎氏(會社員)同
▲栗野鷹二氏(官吏)同
▲藤井大夫郎氏(商業)同
▲井草喜之助氏(會社員)同
▲中薗盛孝氏(陸軍大佐)同
▲來栖助次郎氏(官吏)同
▲平野蕃氏(滿鐵)同
▲高松佐平氏(商業)同
▲横田愼太郎氏(官吏)同大連へ
▲中里龍氏(同)同
▲吉川勝氏(大連組)同牡丹江へ
▲川村進氏(鐵路總局)同博克圖へ
▲吉米地少將　同奉天へ
▲藤井小五郎少佐　同
▲八田壽助氏(商業)同大連へ
▲和氣是平氏(電氣業)同來京ヤマトホテル
▲村田義一氏(會社員)同
▲一宮銀生氏(大日本鹽業社長)同
▲野口多内氏(奉天居留民會長)同
▲高崎弓郎氏　同
▲山崎龍一氏(會社員)同
▲細野繁勝氏(滿日編輯局長)同
▲南田金造氏(日清生命)同
▲庄司雅一氏(會社員)同
▲阿部安雄氏(同副官)同
▲篠塚義男少將　同
▲濱口英雄氏(會社員)同
▲田邊秀雄氏(關東州警察部長)同
▲湊才次郎氏(會社員)同
▲永野紋三郎氏(滿鐵)同奉天へ
▲石原次郎氏(官吏)同旅順へ
▲大和田駒一氏(同)同
▲小川茂一氏(辯護士)同ハルビンへ
▲牧後夫氏(國立高農校)同奉天へ
▲遠藤陸次氏(滿鐵)同
▲新帶國太郎氏(同)同大連へ
▲脇坂海拉爾民會長、二十二日夜來京
▲島崎海拉爾民會副會長同

團體

▲大同學院生十二名　二十三日午後七時四十五分歸京大連より
▲鐵路局主催愛護村鮮、南滿視察團八十八名　同八時四十分來京

乳房ある悲み (續上續上映)
中西伊之助
泉武久畫

(六十五)
溫泉場の客(五)

『あの、齊さまのところへ……』

華代子の語尾には、さすがに不安がはらんでゐた。

『齊はお書齋にゐますから取次ぎます』

『いゝでせう、おばさま、私なら』

『いゝえ、誰方でもいけません』

綾緒は儼さしていつた。

『そんなに他人行儀になさらなくたつていゝでせう、おばさま』

『他人行儀ではありません、それが私の家の作法です』

『隨分固苦しい作法ですね』

『失禮なこと仰有い、あなたも一家の主婦ならそれくらゐなことが解らぬ筈ぢやないでせう』

『ではどうぞお取次ぎをお願ひします！』

華代子は馬鹿叮嚀に頭をさげた。

×　×

夜、華代子は齊を伴つて再び宿へかへつて來た。勿論齊は前の約束通り、華代子の父の謙造に會ふためであつた。

齊はしかし、こんな溫泉場で會はうとは思つてゐなかつた。大垣の家か、でなければ東京市内のどこかの旅館であらうと思つてゐた。が、彼は華代子からまるで子供のやうにあしらはれながら、たうとうこゝまでやつて來たのであつた。

齊は部屋へはいつて、華代子にきいた。

『お父さまは？』

『父ですか、父はすぐまゐる筈ですから、失禮ですがそれまでお待ち下さいな、その間にあなた、お湯へゐらつしやいませ』

『さうですか、お父さま、どこかへ行つてゐられるんですね？』

『えゝ、父は昨日からあなたをそれは首を長くして待つてゐたんです、でも、今日、會社のことで急用ができて東京へまゐつたんですが、夕方までにきつとかへると申してゐたんです』

『今晩、こちらへおかへりになりますね、きつと』

齊は時計を見ながらきいた。小針が八時にかかつてゐた。

『それはもうかへりますとも――きつとかへります』

『さうですか……』

それでも齊は、やや不安な顏色をした。

『御心配なさらなくてもようございますわ、父はすぐまゐりますから、早くお湯をお召し遊ばせよ、そして今晩はごゆつくりなさいませよ』

華代子は、女中の持つて來た浴衣の襟を取つて、

『さあ、お召替遊ばせ』

と、齊にすすめた。

『えゝ、ありがたう……』

齊は立つて洋服のボタンを外しかけたが、また考へて、

『お父さまのお見えになるまで、かうして待つてをりませう、私はいつか一度お目にかかつたばかりですから……』

『ほ、ほ、ほ、そんな御遠慮は要りませんわ、これからはあなた、失禮だけど、ほんさうの父子のやうに思つて、お心安くして頂きたいと申してゐるんですから……』

さいひながら、華代子は妖艶な眼差しでじつと齊の顏色をうかがつた。

『は、ありがたう』

齊は、いつものやうな返事をして、法律家らしい謹嚴な顏で、ぼんやりと床の間の懸軸を見つめてゐた。

『とにかくお湯をお召し遊ばせよ。汗でお體に惡いわよ』

『さうですね、では汗を流して來ませうか、汗臭くては却つて失禮ですからね』

腐敗した罐詰類 混濁したビール
飲食物の一齊檢査の結果は これこの通りの始末
見次第嚴重處罰する

暴利をむさぼる新京の商人が賣つてゐる食料品、飲料水の中には腐つた罐詰、ぼうふらの湧いた酒類を平氣な顔で店頭に並べウインドーに飾つてゐたことが二十三日の新京署衛生係の管內各飲食店、菜魚市場、食料雜貨商の飲食物一齊取締りで發見された、昨日一日中に罐詰百八十一個、洋酒十四本　ビール十三本、その他二百十數個を嚴重檢査の結果百八十一個の罐詰のうち完全なものは僅か十三個、殘り全部は腐敗しており、洋酒類は主として盛場のカフエーに出してゐるブランデー、ウヰスキーの大半は混濁して飲酒に堪へぬ狀態にあつたのが十二、三本ビールは三十本全部が混濁して廢棄を命ぜられた、この市內飲食店、食料品店の非衛生的な營業振りに當局の眼は光り今後どし〳〵發見次第嚴重處罰する

都邑計畫打合會
民政部土木司主催の都邑計畫打合會は二十三日午前十時より中銀クラブに於て開かれたが近藤都邑、堀內總務、趙陸路、王水路各科長及各省土木科長をはじめ國都建設局、國道局、關東軍より各關係者出席第一次計畫として現在實施されつゝある洮安、延吉、承德、北安鎭に關し今後の具體的計畫進行打合をなしたが二十四日も續行の豫定である

犯人逮捕の賞與金を國防献金に寄附
質屋肥後屋主人の男前
市內梅ケ枝町四丁目十二番地質店肥後屋主人道山七郎氏は去る二月十九日警察官と協力大格鬪の上前科七犯の窃盜犯人を逮捕し三月二十七日關東局から警察賞與金七圓を授與されたが道山氏はこの金は決して私すべき金でなく一朝有事の際に何か國防費の一端にして欲しいと三圓を足し十圓にして國防献金に二十三日午前新京署へ屆けた

京洛春便り
京都府市會兩議員中川喜久氏は京都府、市、商工會議所の囑託により滿洲及北支那の產業視察の途上二十一日來新京に滯在中、日本第一の觀光都市京都の春の豪華さを紹介すべく二十六日（日曜）午前九時四十分より新京放送局に於て「京洛春の便り」と題し左記內容により全滿に放送する事となつた
1京都の櫻と之に關する物語り＝傳說圓山の枝垂櫻　嵐山の山櫻　御室の八重櫻、宇治の櫻並木
2京都の春を代表する行事の解說と狀況
都踊、鴨川踊、太夫の道中染角祭、葵祭、御舟遊祭、

新京中學校
光榮ある御眞影奉戴
新京中學校の御眞影奉戴式は廿三日午前九時から同校講堂に於て嚴肅に行はれた、定刻職員生徒、來賓等着席、君が代合唱、一同最敬禮裡に矢澤校長恭しく御眞影の幄を開き奉り勅語捧讀、勅語奉答歌を奉唱して閉幄、地方事務所稻葉庶務係長、松岡滿鐵總裁の告辭を朗讀し矢澤校長の答辭、ついで訓辭あり校歌を合唱して式を閉じた

支那佛教聖蹟參拜團一行出發
淨眞寺貫主大僧正大森亮順師を會長とする支那佛教聖蹟參拜の各宗僧侶一行十九名は十九日午前九時東京驛發上海へ向つた（寫眞は東京驛にて）

休業屆出中の酌婦を無理に働かす
遊喜樓主の無慈悲
城內東三馬路料理屋遊喜樓こと南屋彌三郎方抱酌婦玉喜こと和家志香榮（二四）はかねて脚氣症を患ひ酌婦稼ぎにも耐へぬ程で

養生 のため去る二月十八日から三月十八日まで、第二回目は四月二日から十七日まで、第三回目は同十七日から來る卅日までの三回に亙つて休業屆けを出し休業中であつたにも拘らず樓主は營業不振の折から一人の酌婦に休まれるのも惜しいのでいやがる玉喜に無理やり客をとらせ第一回目に七十六圓五十錢、第二回目に七十八圓五十錢、第三回目に八圓合計百六十三圓を稼がせ其ため玉喜の脚氣はつのる一方で樓主は今日にいたるもなほ稼がせてゐるのを領事館警察署で二十三日發見、樓主南屋を呼び出し

嚴重 取調べ中であるがこの種惡樓主が他にも多數ある模樣で同署では今後發見次第嚴罰に處す

目睫に迫る新京野球大會前記（三）
中銀捨て身の一戰 對新京鐵道軍
守備は兩軍とも鐵壁の陣
鐵道部は新京俱樂部の中堅をなす連中と新に入社した三名の新人にて編成し中銀は昨年と大略同樣のメンバーに新に立教の小岩井、高松商業の生南を迎へ兩軍共に充實せるチームである

×

先づ鐵道軍より見るに投手に新入吉村を起用し北滿一を誇る高橋を第二陣に備へた當り相當の苦心を要した點が見え中銀には新に台北高商出身の川口マウンドに立ち

×

捕手は鐵道山根を配し古賀を一壘に廻し中銀は依然平田出場と見られる

×

双方共バッテリーは五分と五分、內野陣は鐵道軍古賀、藤戶、高橋、小幡の古強豪に對し、中銀は坂田、坪井、今西と新に大邱俱樂部より來りたる梶原三壘に、岩瀨を遊擊に配し兩軍共に鐵壁の守備陣を布くも鐵道軍に一日の長ある如く見らる、外野は鐵道軍は驚選手沖香を中心にして左に新人平野右に同級田中に對し中銀は東京六大學の雄立教の外野手小岩井を中に左翼に高松商業に勇名を馳せた生南右翼に小樽高商出身の石田の對陣で技倆に於て甲乙なし打擊を見るに鐵道軍は藤戶、高橋、小幡、古賀、平野の豐富なる打擊陣に對して中銀は二木、永田の兩選手入營の爲め守備に打擊に於て大痛手であるが平田、岩瀨、小岩井生南の諸君が如何に奮鬪するかゞ見物であるが人材に乏しい感あり、鐵道軍は本年優秀新入三名入社により果然强味を加へ昨年より一層の充實せるチームであり優勝候補の一に擧げられ練習も積んで居る事ではあるし中銀に利薄きは衆人の見る所であるが中銀捨身の一戰は如何に試合を展開するか運命の左右によりては勝利は如何になり行くか野球のダイゴ味は此の邊にあらう

強く正しく愛らしく 兒童愛護週間
五月五日から一週間
新京の主なる行事決定
「強く正しく愛らしく」の標語を掲げて五月五日尙武節前後一週間に亙り全滿に行はれる兒童愛護週間の新京の行事は地方事務所主催、新京婦人團體聯盟、關東局保健所並に本社後援にて最も盛大に擧行すべく着々準備を進めてゐるが主なる行事は大體左の如くである

▲第七回乳幼兒審査會＝審査場滿鐵醫院小兒科診療室審査資格は昭和十年二月一日から十一年一月三十一日までの男女生兒、申込期間は五月一日まで地方事務所社會係宛審査は一切無料、審査會長武田胤雄、審査委員長滿鐵醫院小兒科醫長田中貢

▲優良兒表彰＝最優良兒五名、優良兒十名に表彰狀及記念品、引伸大阪寫眞を授與する場所は家事講習所

△子供の會＝五月三日午後一時から記念公會堂に於て新京幼稚園、藤彩幼稚園、黎明舞踊團の舞踊、童謠、唱歌、新京滿鐵吹奏樂團出場

△旅行列と寶探し＝五月五日午前十時から十二時まで西公園で寶探しと遊戲を行ふ

△母の會＝室町小學校

△兒童健康相談

池冀東專使
重責を果し歸通
【通州廿二日發國通】冀東政府より滿洲國に派遣された池宗墨氏の專使一行は廿二日午後三時通州に歸來して殷汝耕長官に對し重責を果した旨報告を終り、茲に自治政府外交史の第一頁を飾つた

新アルコールの製造に成功
鈴木博士研究室に凱歌
【東京國通】燃料缺乏問題に頭を惱ましてゐる時、此度理研鈴木梅太郎博士研究室から一つの解決の曙光が齎らされた、從來ガソリンにアルコールを混合して使用することは燃料問題解決の一策として熱心に研究されてゐたが、それに適したアルコールを工業的に生產することは凡有る點から難色をもつてゐた、それでアルコールの原料として我國が持つ豐富な糖蜜、過剩米、高粱、木材等の低廉な資源を研究材料に理化學研究所、新京の大陸科學院その他の研究室で力を注いでゐたところ廿日午後に至つて遂に鈴木博士研究室の吉村技師等の糖蜜についての實驗の結果殆ど純粹に近く優秀なアルコールの抽出に成功した、これは生產費も安くドイツやアメリカの例に倣つて僅かにも混合ガソリン使用法案提出の機運に拍車をかけることとなつた

新京中學四年生 北支旅行通信（完）
四年二組　佐々木義

畫の疲れが出たのか、皆はおとなしく寢てゐる。「月でも觀賞するか」等と風流な事をいつて甲板に出た連中も歸つて來た。「おい凄い月だぜ、まるで火の玉がポーつと海の上に浮んだようだ」とＨ君が云ふ。これぢやあ風流どころか怪談みたいだ。でもどんなものかと丸窓より覗いてみる。「うはー實にいゝ」つい感嘆の叫びをあげずにはいられなかつた。その見事さ全く「筆舌に盡し難く候」だ。でも一つ「筆に盡して……」みようか。まるい〳〵大きな眞赤な日、昇れば昇るに從つて、赤から黄に轉色し、今は全く卵の黄味の樣だ。洋い〳〵水面でギラ〳〵と輝る。それにあたりは全く靜だ。こんな靜寂な中でこのように洋い水面に碎けてゐる月影を見てゐると、あらゆるものを忘れて、唯永遠と絕體を思ふのみになつてしまふ。ぢいつと見てゐると、本當に卵の樣で、上甲板上から、大手を擴げ、大きな口を開いてすう、と吸ひ込んでみたい。―全く素的な月の出だ。かくて夜は段々と更けていつた。

どれ程時が立つたのか、目を覺した時は、最早汽船は大連灣に入りつゝあつた。汽船は輕い音をたてながら走つてゐる。デツキは濕つてゐる。暗い電燈がねむそうについてゐる。突然「大連港の燈が見えた」と誰かゞ叫ぶ。成程眞暗い中に黄色い燈がぽつ〳〵とみえる。靄につゝまれた黒い島に赤、靑の燈臺がついてゐて、波うつりキラ〳〵してゐる。汽船は少しのゆれも無く靜かに走つて行く。太陽が彼方の水平線より、の月にもました眞赤な姿を現はし始めた。何時の間に出て來たのか。色々の船があちらこちらに浮んでゐる。空は益々明けてきた。船はだん〳〵岸壁に近づいて行く。そして今はすでにそこにゐる出迎の人々と、顔を見別け得る位にまでなつた。けれども船はもう惰力によつてのみ動いてゐるので、岸壁が鼻の先に見え乍ら、まだ横着けにはならなかつた。其の間の待ち遠しさ、全く云ひようのない氣持だ。とう〳〵船から岸壁へローブが投げかけられた、かくて汽船靑島丸は再び滿洲の國土にゴールインしたのだ。そして同時に我々の北支旅行も無事に終りを告げたのである。

南攻襲擊匪を討伐
【奉天國通】中代討伐隊の木村〇隊は廿二日午前三時頃吳家嶺附近に於て蠢に南攻歸を襲擊した南俠、双俠の合流匪數十名と遭遇激戰、敵に大損害を與へて擊退したが、この戰鬪に於て小林上等兵（佐賀縣）は壯烈なる戰死を遂げ、木村大尉は足部に貫通銃創を負つた

陸上競技練習會
滿洲國陸上競技協會では來る二十五日より向ふ一週間西公園グラウンドに於て講師として當地權威者三四名が指導の任に當り合同練習會を開くと
廿五日（土）午後二時より
廿六日（日）練習なし
二十七日より三十日まで每日午後四時半より

永津新支那課長挨拶に來社
關東軍參謀から陸軍省支那課長に榮轉の永津左比重大佐は二十三日轉任挨拶に本社へ來訪、赴任は來月初旬

第一日目競馬 成績續き
▲第十一競馬（一、八〇〇米十八頭）1新州（二分四二秒二）2一二三3太刀風、配當＝單一六圓九〇、復1六圓七〇2五八圓八〇3二一圓四〇、搖彩票1四八三圓八〇2一三八圓二〇3六九圓一〇、等外一一圓五〇
▲第十二競馬（二、〇〇〇米十二頭）1快力（三分一秒三）2大連一姬3光駒、配當＝單六一圓四〇、復1五圓九〇2一一圓八〇3八圓五〇、搖彩票1三四三三圓一〇2九八圓3四九圓、等外一一三圓六〇
▲第十三競馬（一、八〇〇米十八頭）1新京北海（二分三九秒四）2三治3清柳、配當＝單七圓二〇、復1六圓一〇2二四圓3八圓五〇、搖彩票1二四一圓九〇2六九圓一〇3三四圓五〇、等外五圓七〇
▲第十四競馬（二、〇〇〇米九頭）1賽玉（三分〇秒三）2讃3新京響、配當＝勝馬に投票なき爲購買者全部に四圓宛拂戻、復2一三圓七〇3九圓三〇、搖彩票1一二五圓四〇2三五圓八〇3一七圓九〇、等外七圓四〇

早慶野球戰
傳統を誇る第五十回早稻田對慶應の第一回戰試合は二十三日午後一時三十二分より神宮外苑球場に於て慶應先攻で開始された、スコア左の通り
早　００００４１
慶　０４００００

村上末吉氏夫人
首都警察廳員村上末吉氏夫人ヨネ子さんは豫て病氣療養中の處藥石効なく二十一日夜死去、二十三日午後四時西本願寺で告別式が執行された

サクライヤの人形展
市內東一條通り吉野町の十字路を消防隊に向ふ左側に在るサクライヤ玩具店では五月人形陳列會を催し種々變つたものを出陳人氣を蒐めてゐる

ガス會社戸別訪問
瓦斯會社全社員總動員して明廿四日より五月五日迄の十二日間に亙り各家庭を訪問して使用器具の不具合や其他營業上不備の點を一々伺つて將來積極的にサービス改善を計る由、各家庭においても充分遠慮なき意見を申付けられたいと

あす（廿四日）
▲第三艦隊司令長官及川中將一行來京、午前八時五十分
▲東條警務部長安東へ、午前七時
▲武田地方事務所長歸京、午前十一時三十二分
▲大同公園賣店入札、午前十時
▲滿洲國森林事務所長會議第二日
▲奈良師範生來京、午後十時十五分

今晩の主なる演藝放送
七・〇〇獨唱と管絃樂「フイガロの結婚」（東京）獨唱、有馬大五郎、新交響樂團▲七・三〇寄席中繼（東京）四谷喜よしより

天氣と氣溫
明日の天氣　南西の風曇
日の出　前四時四十三分
日の入　後六時三十四分
月の出　前六時十二分
月の入　後十時十一分
けふの氣溫　最高　二十度〇　最低　十五度〇

訂正
本紙二十三日附夕刊揭載第四面、豐樂劇場廣告は二十五日附夕刊の間違に付訂正す　廣告部

荊妻ヨネ儀病氣加養中ノ處藥石其効ナク二十一日午後七時死去致シ候間生前ノ御懇情ヲ拜謝シ謹デ御通知申上候
追テ二十三日午後四時西本願寺ニ於テ告別式相營ミ可申候
昭和十一年四月二十一日
新京特別市清和街六〇二號地
夫　村上末吉

映画 "支那海" メトロー

南支那海の定期船キャンルン號は二千五百萬磅の金貨を積んで香港を出帆する。船長はこのライン隨一の放膽ガスケル（クラーク・ゲイブル）―この船に乘り込んで來た二人の女『一人はガスケルの情婦支那人形（ジーン・ハーロー）とガスケルの英本國に於ける初戀の女シビル未亡人（ロザリンド・ラッセル）』と二人の男『豚商人實は海賊の主魁ミカーデル（ウオーレス・ビアリイ）と三等運轉士デビス（ルイズ・ストーン）』によつて劇が進行する、ガスケル船長を繞る二人の女の戀の葛藤が颱風の夜、支那人形と豚商人を結ばせ、支那人形の手で武器庫の鍵が盜み出され海賊の蜂起、海賊船の襲來となり、結局卑怯者の汚名で失業船員となつてゐた更生のデビスの働きで海賊を全滅し、嵐も晴れた朝シンガポールへ入港する。ガスケルは初戀の女と別れ、支那人形の情熱の中へ飛び込む―と言ふ筋であるが、次から次へと退屈させない變化ある展開の面白さはクロスビー・ガーネットの原作とテイ・ガースチンの原作とテイ・ガーネットの監督に負ふものが少くない。フアノスマンとマック・ガイネスのカメラも南支情調を傳へるに巧みであるし、往年の上海超特急時代のインチキ支那の面影は殆んど見られない。颱風に奔弄される物凄い場面、警官にひかれて行く支那人形を送るガスケル船長等々場面場面の佳さもあるが、意氣と情熱に生きる男たち三人の間に渦巻きつゝ進行する劇全體の面白さには及ばない。これは優秀なる大衆文學、興味本位のメロドラマ。藝術的な影はさておいて、興行價値としては近來少い高いものをもつてゐる―帝都キネマ上映中―（近）

異色ある大衆劇 江味三郎一座

二十四日より公會堂開演

梅島昇一黨より四年前に獨立して一座を組織し、劍戟に世話物に新劇に行くところとして可ならざるなく、大衆劇壇一方の寵兒として、特異の藝風を謳はれつゝある江味三郎が、若手男女俳優三十餘名を引率して、初めて當地に乘り込み、來る二十四日より四日間記念公會堂に於てお目見得する

出し物は「次郎吉格子」のやうな劍戟物、故中村雁次郎の藝風生寫しの、江味三郎得意の家藝「大石主税」「鳥邊山心中」の艶つぽい物、などもやれば菊池寛原作の「父歸る」といつた新劇もやる、桃中軒松雲特別出演の節劇もあらうと云ふ盛澤山で、若手達者揃ひとて面白いこと此上なし京城、大連、奉天、各地とも十五日間大入りを續けて來た大衆受けのするもの木戸一圓二十錢、廣告刷込みの割引券持參一圓、尚初日に限り御披露のため半額の六十錢にするとのことである

ないとか？（寫眞は右がヤヱ子君、左がカノ子君）

仙人掌

カフエーマルセーユは近ごろ新しい女給さんを多數入れ、春らしいカフエーの陣容を整へお客サンの人氣を集めてゐるが▼こゝの人氣者はヤヱコ、ハルミ、カノコの諸嬢である、この中でヤヱコくんは近い内マダムになるとかの怪ニユースがあつて「アレは良きチヤ」と云ふ連中がソワくと惱まされてゐる▼カノコくんのサービス振りは滿點ですが彼女の眞面目な顔付に言ふに言はれぬイツトがあるとか、

雜音

帝都の有料試寫會は仲々の好評である、比較的高級フアンのみによつて限られた此の雰圍氣は頼もしいものを感ずる、強力で押切つた活劇的メロドラマ「支那海」の迫力はこの館の積極策に相呼應して精彩を放つ！「男性NO・I」以來の迫力篇ヒットを豫想せしめる▲豐樂は「靑い果實」が魅力をひくが「若草物語」「坊ちやん」を配した此處の番組も近頃心嬉しき編成である▲「若草物語」と同傾向の作品「紅雀」が次週長春座に掲る「若草物語」の感傷がRKOの企劃を動かしたものらしいがアン・シヤーレイに興味をひくものがある▲感傷と云へば小津の「大學よいとこ」の暗さはどうだ、求めて暗さのみを描かうとする、ひとりよがりの感傷癖にはもう辛抱が出來ん、大學生の教練の如く鮮やかな方向轉換が必要である▼新京キネマは日活全プロ、此處はどうやら洋畫を見放したらしい▲公會堂は江味三郎一座開演、水の如く飴の如くつぶしのきく所を御照覽！

金曜	四月廿四日
丙子	舊閏三月四日
赤口	
成	
鬼宿	

●一白の人　秩序亂るれば一家の動搖を招かんとする日　申と壬と寅が吉
●二黑の人　衆望を負ひ信用益厚く業務繁榮する大吉日　丁と辛と戌が吉
●三碧の人　本道を誤り拔道に入りて行詰りとなる如し　壬と丑と寅が吉
●四綠の人　不運と諦めて何事に係はらず控へ目が安全　申と壬と寅が吉
●五黄の人　輕忽の所行は意外の失敗あり愼しめば良好　丙と丁と辛が吉
●六白の人　大望と急功を欲せざれば進展を遂ぐべき日　丁と戌と亥が吉
●七赤の人　身心共に惱み多きの日外に在れば殊に然り　丙と丁と戌が吉
●八白の人　運氣壯にして百事成る起業開店婚禮等亦吉　丁と戌と亥が吉
●九紫の人　澁滯せる氣運にて焦る時は益不利に陷る日　申と乙と壬が吉

滿洲國三月に於る 郵貯、爲替狀況
預入員及び預金額各增加し 國際爲替一九四萬圓

滿洲國交通部郵務司調査に依る三月中の郵便貯金及郵便爲替狀況は左の通りである

即ち郵便貯金は前月末現在高に比し預入員三、二一三人、預金額三五〇、六五八圓三九錢を各增加して月末現在高は預入員八七、五八七人、預金額三、四七四、〇五八圓七九錢となつてゐる右增加高現在高を貯金種類別に示せば增加高に於て

國幣一般貯金
預入員 七二八人
預金額 一〇九、二一〇圓六一

官吏義務貯金
預入員 二、六八一人
預金額 三三二、五五一圓九〇

金票貯金
預入員 三三〇人
預金額 八、七〇〇圓八八

であり、現在高に於て

國幣一般貯金
預入員 四五、六八八人
預金額 一、八五六、三六一圓一六

官吏義務貯金
預入員 三六、七七九人
預金額 九三〇、〇二〇圓六六

金票貯金
預入員 五、一八〇人
預金額 七三三、七三三圓八八

となつてゐる、尙郵便爲替は總取扱高に於て
口數 一六一、三九五
金額 三、九三六、八四七圓一
となり、右內譯を示せば左の如し

△國內爲替
振出 八七七、九七四口 九八四、〇六三圓〇六
拂渡 四八、四八五 一、〇〇八、五四四圓〇八
△國際爲替
振出 五四、七二四口 一、九九三、八二二圓〇七
拂渡 一〇、三三 一四〇〇、八九五圓五九二
計 六一、六九六 一、九四四、四〇九圓六一

即ち國際振出一〇〇に對する同拂渡の比率は口數に於て一八、金額に於て三〇を示してゐる

三月中に於る 豆、粕、油の輸出狀況

【ハルビン國通】三月中の滿洲大豆、豆粕、豆油輸出高は

（單位キロトン）

	本年	昨年との比較
大豆	一九七、五四〇	七一、三三八增
豆粕	二七、三九五	二三、六六六減
豆油	一一、五四四	三、八五五增

となり、本特產年度の輸出高と昨特產年度との比較は左の如くである

	本特產年度	昨特產年度との比較
大豆	一、四四三、四八五	三三八、九五三減
豆粕	五四一、九九七	二〇、一二三增
豆油	四七、三七四	二、三四〇減

而して大豆を輸出港別にすると

	三月	十月以降三月迄
大連	一六七、六九六	九九三、九九五
營口	三一、二四四	四一、三六六
安東	一、二〇〇	七、〇三二
滿津	一七、〇九九	三七、五二一
雄基	八、四〇〇	四四、六四八
羅津	三〇一	三四〇
合計	一九七、五四〇	一、一四四、八八三

となつてゐる、輸出經路は北鮮經由十萬二千九十九キロトンに過ぎずして依然大連が壓倒的である、尙ほ歐洲向け大豆輸出は三月中十萬六千九百八キロトン、十月以降累計六十五萬二千三百六十二キロトン、日本向け豆粕は三月中八萬八千四百六十九キロトン、十月以降累計三十四萬八千八百十四キロトン、豆油歐洲輸出は三月中八千三百六十七キロトン、十月以降累計三萬四千九百三十九キロトンである

奉天鐵西に 亞細亞麥酒創設
製品は年內に市場に出す

前サクラビール專務であつた森脇松一郎氏を發起人總代理として亞細亞ビール會社は創立された、工場は奉天鐵西に本春早々着工し年內に製品を市場に賣出すべく計畫されてゐるが機械は最新式の歐洲製品を据へ付ける計畫である、資本金は一百萬圓一株十五圓拂込みとし今秋十月又二十五圓を拂込み二百萬圓の株式會社に增資の計畫である、地方滿洲の邦人にも一萬株中二千株を拂込ませ殘り八千株を發起人に於て引受ける事となり先日來株式募集中の處賣行良好で愈々二十一日を以て應募締切られた、內地資本家のみで獨占せず滿洲株主中より二名の重役を出さうとしてゐる滿洲ビールは奉天に進出し既にサッポロビールと銘打つて賣出してゐるが康德ビールは內紛を起し奉天に工事を新設せずして解散し滿洲ビール獨舞臺であるため競爭相手たる亞細亞ビールの奉天進出は一般ビール黨より歡迎されてゐる、猶森脇氏以下三好德行、福助川直人の發起人は何れも福岡出身の財閥で九州屈指の資產家で而もビールには深き經驗を以つてゐるので評判がよい猶同社の奉天に於ける創立事務出張所は琴平町奉天信託會社の貸事務所である

日滿經濟協會 大阪支部發會式

【大阪國通】日滿實業協會に對し在阪關係實業家側は日滿經濟協會を設置して從來對立の狀態となつてゐたが、先般日滿經濟關係の密接化に鑑み角野久造氏等の斡旋の下に日滿經濟協會を開催し日滿經濟協會大阪支部を設けて活動を繼續する事となり豫てより準備中のところ廿二日午前十一時半綿業會館に大阪支部臨時總會を開き理事長として森平兵衞氏が就任することに決定し、引續き支部發會式を擧行し廣田首相をはじめ外務、陸軍拓務各大臣、宇垣朝鮮總督、植田駐滿大使その他の祝電披露があり頗る盛會であつた

奉天滿人中商工業者の 金融機關設置
商務會、市公署、委員會設く

【奉天國通】奉天滿人側商工金融の逼迫は益々深刻の度を高め一月以降倒產閉店せるものの二百廿二軒に達して居る之が原因は農村不況に依る購買力の減退中商工業金融機關の缺陷に依るもので現存する金融機關は一部有產者に依つてのみ利用されて居る現狀であり從つて中商工業者は僅に當舖（質屋）の高金利に依つて金融の途を講じて居る狀態にあるので最近之等中商工業者間に金融機關を設置するとの聲が各所に高まりつゝあり商務會市公署等に於ても先般來より勸業銀行設置委員會を設けこれが具體的研究を進めて居る

土建ニュース

●奉天地方事務所
▲連間一四五、五六五粱細川五號橋梁橋台改築工事
落札 六百五十圓
六五〇・〇〇 福井高梨組
六九五・〇 荒井組
七二一・〇 水間組
吉川組
▲四鷄間南線側第三號橋梁橋脚改築工事
落札千三百圓
一、三〇〇・〇〇 三田組
一、三五〇・〇〇 昭和工務所
一、四五〇・〇〇 今井組
一、八八〇・〇〇 水間組
岡組
●鐵路總局
▲牡丹江鐵路局假局舍新築工事
單獨 十萬四千圓 大林組
●大連鐵道事務所
▲大石橋保線區を保安區に改築工事
▲大石橋建第六六號に電力倉庫增築他二棟改築工事
以上二件合併
落札 二千四百五十八圓
二、四五八・〇〇 柿崎組
二、七〇〇・〇〇 草場組
倚厚組
▲南陽間二八五K二一六上線▲海南郭家窪子河橋梁改築
間二七二K九九二上線前五道河子河橋梁改築工事
以上二件合併
落札 千七百四十八圓 倚厚組
温
▲大連驛新築に伴ふ道路付工事
落札 一萬四千五百圓
一四、五〇〇・〇〇 柿崎組
錢高組
三田組
倚厚組
今井組
草場組
坂本組
●滿鐵地方部
▲甘井子第五區公醫診療所煖房給排水工事
落札 二千百三十圓
竹山商會
高石商會
成川工務所
大阪煖房
▲鞍山高女增築工事
落札 五萬八千六百圓
蔦井組
榊谷組
三田組
上木組
▲新京中學校增築工事
單獨 六萬八千二百圓 長谷川組
●大連市役所
▲市營住宅壘修繕工事
落札 七千七百圓
七、七〇〇・〇〇 田中正夫
倉橋組
▲大連屠宰場病燒却窯修繕工事
（以下十二名在りも詳略）
落札 三百二十圓
中野蝶之助
寺本周次郎
沖原盛藏
根の木正男
野島常次
▲台山屠場分場繫留所取設其他工事
落札 二百三十八圓
寺本周次郎
根の木正男
野島常次
中野蝶之助
沖原盛藏
●大連工業株式會社
▲防布乾燥工場及事務室實驗室增築工事
落札 六千八百二十圓
今井組
伊賀原組
辻組
安藤組
編昌公司
●大連工事々務所
▲黑礁屯三七九、一號社宅外五戶ペンキ塗替工事
豫特 三百六十六圓 藤田揚一
▲本社第二分館會議室間仕切新設工事
豫特 百八十八圓五十錢 宅間宏之
▲近江町管內社宅鋼戶取設工事
落札 三千八百五十圓
三、八五〇・〇〇 石井組
四、〇〇〇・〇〇 昭和工務所
柿崎組
▲日の山町營內社宅鋼戶取設工事
落札 二千四百十圓
第一回 二、四一〇・〇〇 井上組
辻組
間瀨組
井上組
辻組
間瀨組
●國道局ハルビン建設處
▲住木斯務利間國道第一回局部改良工事
示談 二萬一千圓
入札 二一、五〇〇・〇〇 西本組
西本組
濤水組
鐵道工業
日本工業
吉川組
▲東寧綏芬河間國道第二回改良工事
落札 七萬九千四百八十圓
荒井組
大倉土木
京城土木
東亞土木
飛島組
伊賀原組
義合祥
▲佳木斷市街附近國道局部改良工事
落札 二千九百八十圓
吉川組
飛島組
伊賀原組
三田組
鹿島組
●吉林鐵路局工務處
▲敦化驛本家其他排水設備工事
落札 一千六百五十圓
吉川組
西本組
東亞土木組
復元公司
▲吉林工務段設管內奉吉線蓮花泡窪碎石貨車撒布工事
特命 一千八百六圓 復興公司
●國都建設局
▲白山公園門新設其他工事
開札 四月二十二日
▲吉林大路以南正義街東側第一區道形築造工事
開札 四月二十三日

滿洲國では何故單に特許局とせず特許發明局としたのであるか▲日本に於いては主として發明された結果そのものに就いてこれに法定の權利を附與する點に主力を注いで居り發明そのものの發生を獎勵助長するに就いては遺憾な點が多い▲例へばこの方面には帝國發明協會その他の既成團體に制ちうされて充分統括的な活動を見せなかつたものである▲滿洲國では日本に於るこの不統一の失敗に鑑み特許局の仕事と發明團體の仕事とを統一して同局で扱ふ事になつたのに起因するものであると解釋すべきであらう▲すでに發明協會設立を計畫する外吏に一步を進めて著作權に關する事項をも同局に包含せしむべく準備しつゝあるもの如く智的資源の開發についていはゆる無體財產權に關するものをも一括取扱ふことにならう、將來を考へてこれは理想的な方向と言ふべきであらう—「文化こゝに法規と結ぶ景色あり」

擡頭した糧棧問題（二）
事變を楔機とする 糧棧衰頽の過程
――要求さるゝ代行機關――

糧棧は半封建的な舞臺において、農民に對して糧穀の蒐集、貯藏、金融等の機能を相當效果的に發揮し、その機能の實踐を通じて、高利貸的に農民經濟の上に君臨して、絕へざる搾取を續け、しかも舊軍閥政權と結びつくことによつて、その政治的經濟的庇護さへも得て、一層その搾取的活躍を容易ならしめ、かつ活潑ならしめた。

すなはち舊東三省の封建軍閥が特產界に現るるや、都會地における大糧棧を直系とし地方における群小糧棧を率ひて飽くことなき搾取の暴威を振つたことは、顯著なる事實である、しかし滿洲事變によつて、これら軍閥の消滅に隨伴して、これと不可分の關聯にあつた多數の糧棧が、あるひは沒落しあるひは悲境に沈淪したのは、まさに必然の經路であつた、また事變以後滿洲の糧棧に投下されてゐた支那資本が、次第に南支あるひは北支へと引揚げられて行くのも當然である。

× ×

すなはち滿洲事變を楔機として、舊政權の覆滅、東北軍閥の敗退に伴ふて、滿洲における糧棧が頓みに衰微に傾き政治的に勢力を失墜するとともに、經濟的に信用を薄弱ならしむるに至り、特產に對する蒐集、貯藏、金融の機能を發揮することにおいて、農業經濟上の重要機關たるの資格を喪失しつゝあるにも拘らず高利貸的搾取の暴威のみは、依然として疲弊の極にある農民の上に揮ひつゝある實情において、往々にして糧棧廢止論まで擡頭するといふ始末である。

しかしながらかくのごとき古き歷史を有し、農業經濟上に根づよき傳統を持ち、深く農民生活の間に滲透して來た施設を、これに代るべき十分なる機能を他の施設乃至機關によつて、保育し開拓し保障することの氣長い努力經營を費すことなくして、一朝にして廢止し去ることは、事實上不可能であるばかりでなくそれによつて容易ならざる破綻を惹起する惧れなしとせない、經濟的機關であるだけに一層その感が深いわけである

× ×

とはいへ、滿洲の政治經濟局變局に處して、外部的にはまた內部的にもすでに異變をきたし衰微の過程を辿りつゝある糧棧であり、農民文化の漸次的發達向上と、農業經濟の開發進展の現實に即する限り滿洲にもどう配給機構の合理化と中間搾取機關の排除が、效果的に實踐されて然るべきではないか、底知れざる農民窮乏の大勢は、一層これが必要を痛感せしめつゝあるではないか。

半封建的農村經濟の環境において、それは相當の困難を伴ふにしても、要は農民の漸次的向上を素材として、現實の經濟的環境に順應しつゝ、從來糧棧の果し來つたところの機能を、一層適切に果し得べき施設の效果的な實現を期しつゝ、取引の合理化と搾取機關の排除を行ひつつ陽光の下に自然に氷が溶解するがごとく、今日の如き糧棧の後退乃至沒落を期することが、妥當なる道ではないであらうか。

（永口生）

商況欄
（四月廿三日前場）

海外經濟電報
倫敦銀塊 二〇片四分一
同先限 二〇片四分一
紐育銀塊 四五仙四分一
孟買銀塊 七七留比二〇
倫日爲替 一志二片三二分一〇
米英爲替 四弗九六仙二分一
米日爲替 二八弗九二分一〇
米支爲替 二九弗八七仙
スチールナゴンダ 三八弗四分一
英支爲替 一志二片八分五
印日爲替 七七留比八分五

▲米棉

▲印棉
現物 一一仙八五
五月限 一一仙五五
七月限 一一仙二四
十月限 一〇仙三八
十二月限 一〇仙四〇
一月限 一〇仙四三
三月限 一〇仙四八
ブローチ 二〇三留比
オームラ 一八八留比
ベンゴール 一六〇留比

▲市俄古小麥
五月限 一弗〇一仙八分三
七月限 九二仙二分一
九月限 九〇仙二分一

▲カルカッタ麻袋
青筋 二三留比八分三
鐵筋 二〇留比一分三

金銀市況
●上海標金
本寄 二四五、九〇
步 [illegible]
●大連金鈔
現物 [illegible]
寄付 [illegible]
步 [illegible]
引 高 安 出來高
四月廿八日限 五月十三日限
●大連鈔票銀大洋
現物 二三、五〇 二四、〇〇
引 高 安 出來高 不申來

爲替相場
▲上海爲替
▲日本向 第一回 賣 買 一〇三、三七五 / 第二回 賣 買 一〇三、六二五 / 第三回 賣 買
▲倫敦向 第一回 賣 買 一志三片二分一 / 第二回 賣 買 / 第三回 賣 買
▲紐育向 第一回 賣 買 二九弗一六分三 / 第二回 賣 買 / 第三回 賣 買
▲大連爲替
▲上海向 六、一〇 一〇六、一〇五 五、九〇 五、八〇 五、八五
▲天津向 一〇六、二〇 六、一五 六、一〇 六、〇〇 五、九〇 五、八五 五、九〇
▲阪神日米爲替 第一回 賣 買 二八弗一六分三 八分七
▲阪神日英爲替 第一回 賣 買 一志二片 三二分一 一六分一

各地株式市況
▲東京株式（短期）
東新 鐘新 新鐘 日產 大新
▲大阪株式（期）短

新京取引所市況
（四月廿三日前場）
現物（一石値段）
大豆 一一、八〇 一一、四〇 出來高 一車 二車
長粱
小豆
玉蜀黍
定期（混合百斤値段）
四月限 寄 引 出來高 六車
五月限 七車
高粱
四月限
五月限 九車

各地特產市況
●大連大豆
●同豆粕
●同豆油
●同高粱
●哈爾濱大豆
●同小麥
●神戶豆粕

各地商品市況
▲大阪棉絲
四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限
▲大阪棉花
當限 先限
▲大阪人絹
當限 先限

▲奉天株式（短期）
五品 豆新 鈔新 東新 滿鐵 二新 日產 鐘新
▲大連株式（短期）
大新 鐘新 東新 日產 日晉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 / 郵税 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 / 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河栗忠 / 編輯人 松本男 / 印刷人 水越內之介

完全にソ聯化した新疆省政の各機關

傳へられる三協定の要點

漢人の勢力漸次排除

【上海廿三日發國通】ソ聯の外蒙に對する積極的進出と相呼應して新疆省の赤化工作は最近とみに活潑となり、經濟的方面は言ふに及ばず軍政方面に於ても新疆省内に於る南京政府の勢力は完全に驅逐さるるに至つた、即ち最近支那側某機關着情報によれば最近の新疆事情は左の如くである

新疆省の行政會議は去る二月開催され省政の實權は迪化駐在のソ聯總領事と省政府に入つて居るソ聯人顧問に掌握され居る事が判明した、軍事の最高機關は督辦公署であるが、此處にも多數のソ聯ゲ・ペ・ウや軍人が顧問の名の下に入り込み全省の軍隊を驅使して居る、督辦公署直接指揮下の軍隊は約三萬人で中隊長以上は悉くソ聯人によつて占められてゐる

右の外全省の各中等學校には多數のソ聯人教師あり、首都迪化にはソ聯國營コーペラチヴがあり全省各主要地に同出張所を設置し、商業貿易を獨占して居る

新疆省政府は未だ獨立は宣言しないがソ聯側よりの强制で締結された幾多の密約の存在する事は疑ひの餘地がない、傳へられる諸協定の要點を示せば左の如し

△軍事協定
一、ソ聯人軍事顧問の雇傭
二、ソ聯より軍費支給
三、軍事的諸材料の供給

△政治的協定
一、ソ聯人政治顧問の雇傭
二、漢人の全面的排撃

△交通協定
一、省内自動車網建設に對するソ聯の獨占權
二、航空に於るソ聯の獨占權

之等の協定によりソ聯の完全なる新疆支配が着々實現しつつあり新疆省政府より漢人勢力は漸次排除され更に驚くべき事にはソ聯との公文は素より一切の公文には中華民國なる字句の使用を禁止して居るといはれてゐる

全滿居留民會長聯合會

二十二萬餘噸の補助艦大建造案

廿二日米國下院を通過

【ワシントン廿二日發國通】米國下院海軍委員會は廿二日ヴインソン委員長提出にかかる補助艦五十四隻建造案を審議修正附きで可決した、新建造補助艦內譯左の如し

艦種	隻數
砲艦	六隻
航空母艦	四隻
水雷母艦	三隻
食料船	二隻
病院船	二隻
軍需輸送船	一隻
修理船	二隻
タンカー	一隻
水雷敷設船	十五隻
偵察飛行艇母船	七隻
測量船	一隻
潛水母艦	一隻
特別曳船	十隻
合計	五十四隻（二十二萬一千噸）

山海關に於る通關手續代辨規定正式決定

五月一日より實施

【奉天國通】五月一日より實施される社線、國線及び北寧線間貨物通絡運送規定に伴ふ山海關驛に於る通關手續き代辨に關しては豫ねて三當事者間に協議されつつあつたが、愈よ正式決定をみたので右規定と同じく五月一日より實施される事となつた、要旨左の如し

一、通絡運送貨物の山海關驛に於る通關手續は左の區分により總局及び北寧鐵路局に於てこれを代辨する
▲鐵路總局（總局線方面の場合）
イ、滿洲國輸入に關する手續き
ロ、中華民國輸出に關する手續き
▲北寧鐵路管理局（北寧線向の場合）
イ、中華民國輸入に關する手續き
ロ、滿洲國輸出に關する手續き
二、荷主は通絡運送貨物委託運輸の際通關手續き自辨其他所定事項の申出でをなす事により山海關驛に於て自ら滿洲國税關及び中華海關に對し通關手續きをなすことを得
三、鐵路局に於て通關手續きを代辨すべき貨物を委託する際は必ず荷物明細書及び指令書通、關に必要なる書類を提出せしめ運送關係書類に添附することを要す
四、通關代辨に關する各驛の申告、請求其他附帶の手續きは山海關驛長これを擔當す

在滿各機關の會計檢査を行ふ

井上會計檢査院第三部長渡滿

【東京國通】會計檢査院では在滿各機關會計檢査のため第三部長井上綾太郎氏を渡滿せしめることに決定した、同部長は五月上旬東京出發の豫定である

聯盟の微力に乘じ獨逸墺國合併敢行か

【パリ廿二日發國通】ドイツ政府のラインランド要塞構築説、ヒトラー總統の誕生日に於る國防軍の一大示威等と共にフランスの對獨警戒は極點に達し、一部にはヒトラー總統は聯盟の脆弱生に乘じ一擧に獨墺合邦を敢行するのではないかと傳へられる、恰も廿二日ドイツ新聞が近くオーストリアに於て重大事件勃發せんとの無氣味な報道を掲げフランス人心に異常な衝撃を與へて居る

英の對獨質問覺書

十日以內に通達せん

【ロンドン廿二日發國通】イーデン外相は外務省專門委員作成にかかるイギリス政府の對獨質問覺書に基き目下愼重に檢討吟味を加へてゐるが、來週中には閣議に提出し承認を求める手筈と考へられる、從つて外交機關を通じ愈々右覺書をドイツ政府に通達するのは今後一週間乃至十日のうちとみられるがイギリス政府は覺書に於てヒトラー總統の提示した歐洲平和確立案に就き種々質疑を試みると共に特に植民地問題に關するドイツ政府の意向につき突込んだ質問を提出するものと期待されてゐる

白國々防相

國防再整備を力説

【ブラッセル廿二日發國通】ベルギー國防相アルベール・デブエーズ氏は廿二日下院議員廿名及び參謀本部代表十一名より成る國防共同委員會に臨み國防强化の必要を力説、委員會が速かに徴兵制度の充實案を確立するよう要望した デブエーズ國防相の演説要旨左の如し

ドイツ軍のラインランド進駐並に近代戰術發達の結果に鑑みベルギー政府も國防再整備の必要に迫られるに至つた、仍つて國防共同委員會は現行徴兵制度を特に次の諸點に立脚確立するよう要請する
一、國境線駐防の恒久化
二、陸軍幹部將校並に技術員の補充
三、國境線に必要な兵器々材の充實
四、壯丁訓練の徹底

益々惡化

ユダヤ人と回教徒の衝突

【エルサレム廿二日發國通】パレスチナに於るユダヤ人と回教徒との衝突事件は益々險惡化し回教徒の一團は廿二日遂にヤッファのユダヤ人住宅に放火するに至つた、ユダヤ人の大部分はテラヴイウに避難したが、一方反ユダヤ人的不穩空氣は全國に波及し各地にアラビヤ人の慘殺並に暴行事件を惹起してユダヤ人の代表は回教徒の迫害に憤激し廿二日パレスチナ駐在のイギリス官憲に對し保護を要請した

滿洲國辭令

四月二十三日付滿洲國辭令は左の如くである

任民政部理事官（拓政司長心得）を命す　森重千夫
民政部總務司長
兼民政部拓政司長　清水良策
兼官を解く

"日本へ使節派遣 近い將來實現したい"

重任を果した池宗墨氏語る

【通州廿三日發國通】滿洲國派遣使節の重任を果した池宗墨氏は廿三日朝九時自治政府秘書長室に於て安堵の色を滿面にたたへつつ左の如く語つた

滿洲各地に於ては朝野の熱誠なる歡迎を受け身に餘る光榮に浴し感激に堪へない、思ふに之は滿洲國に於る日滿支三國融和協力の氣運が愈よ濃厚となりつつあるを物語るものである之を機とし兩政府は一層緊密化し友好關係の確立をみる事は勿論であるが同時に我冀東自治政府は滿洲國の支援と日本の助言とによつて自治區の理想的樂土の完成が早められた譯である、日本への使節派遣は決定したものではないが近い將來に是非とも實現したい意向である

ユ大使外相訪問

滿ソ國境問題につき協議

【東京國通】駐日ソ聯大使ユレネフ氏は廿三日午前十一時外務省に有田外相を訪問、滿ソ國境問題に關し有田外相就任後最初の重要會議を行つた

即ちユレネフ大使は滿ソ國境確定委員會及び紛爭處理委員會に關しソ聯政府の態度を説明し

確定委員會に就ては之を滿ソ東部國境に限定するも差支へはないが紛爭處理委員會は飽く迄も滿ソ國境の全線に亘つて設定したい

と申出た、右に對し有田外相は

滿ソ國境に於て最も紛爭が頻發する東部方面に於て確定並に紛爭兩委員會を設定せんとするのは帝國政府從來よりの根本方針であるから先づソ聯政府は右の方針に從つて善處されん事を要求する

と述べユ大使は本國政府に請訓すべきを約して午後一時十五分辭去したが國境委員會の運命は近く回答せらるべきソ聯側の態度如何にかかる事になつた

內示された

海軍追加豫算の內容

【東京國通】海軍では十一年度追加豫算總額一億三千四百九十五萬九千八百八十三圓の內容に關し目下貴衆兩院各派に內示して諒解を求めつつあるが內示せる追加豫算の內容は經常部二千九十五萬五千百一圓臨時部一億一千四百萬四千七百八十二圓にしてこれが主なる內譯左の如し（單位千圓）

△經常部
第一次補充計畫航空隊維持に要する經費豫定年劇額の增加　三、〇七一
艦船部隊定員增加に要する經費豫定年劇額の增加　一六六
既定計畫に基く新艦船維持に要する經費　三、八〇九
航空隊編成替及維持等に要する經費　六、一三六
航空兵器維持に要する經費　二、四九一
教育改善に要する經費　四〇五
爲替相場の變動に基く經費の增加　二、八六五

△臨時部
工作廳整備に要する經費　二一、八一一
軍需部整備に要する經費　一〇、四九九
防備部隊整備に要する經費　一、八一〇
教育機關整備に要する經費　一、一九五
航空隊設備費の追加　七、二九七
艦船改裝費及艦船特定修理費の追加　五四、一五八
雜船製造に要する經費　一〇〇
軍需品整備に要する經費の增加　三、二七一
兵器其他研究に要する經費の增加　五、三一〇
滿洲事件行賞に要する經費　五八九
爲替相場の變動に基く經費の增加　一、五五九

花谷中佐東上

關東軍第三課花谷中佐は廿四日午前七時新京發ヒカリで中央と打合せのため東上の豫定

石本理事天津へ

【大連國通】石本滿鐵理事は廿三日朝大連發旅客機で天津に向つた

エ國北軍

皇帝に背叛か

【アヂスアベバ廿二日發國通】首都アヂスアベバの運命風前の燈の如く急迫した事を前に廿二日北部戰線にあるエチオピア軍は遂に皇帝ハイレ・セラシエ一世に對し叛亂を起したと傳へられる、但し詳細不明

新設の滿洲鹽業會社 本社を新京に

五月一日より業務を開始

滿洲に於る鹽田開發並に輸出工業鹽の統制の爲滿洲鹽業株式會社が設立される事となり右設立に伴ふ滿洲鹽業株式會社法は廿三日勅令として公布即日實施されたが同會社設立に關する準備委員は廿三日午後一時より新京日滿軍人會館に於て第三回準備委員會を開催、準備委員長竹內關東軍顧問以下委員として秋永關東軍參謀、松田企劃處長、高橋實業部總務司長、星野財政部總務司長、高田關東軍囑託、甲斐日本鹽業双頭灣出張所長、中川東拓新京支店長、石川日本人造肥料常務、一宮日本鹽業社長、長島曹達晒粉同業會理事、小山日本人造肥料參事幹事として是安關東軍囑託、椎名實業部統制科長、山梨財政部鹽務科長の諸氏出席し定款中の本社所在地の件を協議し新京案と大連案につき意見交換したが、政府との連絡の關係上これを新京に置く事に決定した

尚設立に關する諸般の準備事務に關し打合せを遂げ午後三時散會したが、來る廿七日午前九時より日滿軍人會館に於て設立委員會を開いて定款、人事其他を最後的に決定して同日正午より愈々創立總會を開き直ちに登記並に定款認可申請を行ふ筈で業務開始は五月一日の豫定である

全滿居留民會聯合會終る

治外法權撤廢後に於ける在滿日本居留民會の諸問題に關する全滿日本居留民會長會議は午前に引續き午後一時から新京記念公會堂にて開催された

午後は大使館山本書記官、關東軍花谷參謀、滿洲國田村國税科長、中野總領事代理等臨席清水議長再開を宣し劈頭山本書記官より治外法權撤廢に關し現在までの準備進捗狀況を説明、花谷參謀

諸君はこの問題を論議する前に滿洲國とは何ぞやといふことを先づ認識せねばならぬ

と數十分間に亘り滔々懸河の熱辯を振ひ田村國税科長又滿洲國として課税問題につき諄々噛んで含めるが如く説明を加へいよいよ議事に入り議案十六、希望事項三件につき、山本書記官、花谷參謀、田村國税科長より交々安心し得るやう懇切叮寧に説明を加へ最後に清水議長の挨拶あり午後六時閉會した

森林事務所長會議第一日

森林特別會計設置、官行斫伐の實行、集團伐採制の採用と國有林管理制度確立後始めての森林事務所長會議第一日は廿三日午前九時半より開催、本部より丁實業部大臣以下各司長其他關東軍、總務廳、民政部、蒙政部等より關係官各森林事務所長等七十餘名出席丁大臣の訓示に次いで岸林務司長の說示、村上關東軍顧問、竹內民政部司法科長の講演を終つて各森林事務所長より諮問事項に對する答申あり午後六時散會した、尚ほ同會議は來る廿八日迄引續き開催される

△諮問事項
既往の實績に鑑み國有林の管理經營上特に改善工夫すべき事項並に之に對する具體的方策如何

△協議事項
一、康德三年國有林伐採計畫に關する件
一、本年度收入見込に關する件
一、集團伐採地の警備に關する件
一、豫託金に關する件
一、旅費規程に關する件
一、森林保護組合の設立に關する件

宇佐美理事

二、三日中に東上

【大連國通】滿洲國鐵道借款の利息七分五厘を六分に引下げんとする案は先に滿鐵宇佐美理事が關係方面と折衝すべく上京したが同理事は母堂急病の爲め折衝を終へずして歸連しそのままとなつて居たので改めて之が折衝を開始すべく同理事は二、三日中に上京する事となつた、鐵道借款の利息引下げについては中央も其の必要を認めて居るので大體困難なく實現するものとみられて居る

及川海軍中將

今朝着京

旅順に入港中の第三艦隊司令長官及川中將は皇帝陛下に謁見の爲二十四日午前八時四十分着列車で來京の筈である

電業の永野氏

大連へ榮轉

滿洲電業株式會社新京本店から大連支店工務課長に榮轉の永野義男氏は二十四日午前九時發列車で赴任するので二十三日暇乞挨拶に來社

中銀週報

自四月十二日至十八日

紙幣發行額　[illegible]
準備幣　[illegible]
保證幣　[illegible]

人事往來

▲太田原法務官（關東軍法務部長）二十三日午前ハルビンより
▲青柳少佐（關東軍交通部）同奉天へ
▲王濟象氏（軍政部）同午後吉林より
▲高橋利雄氏（日ソ通信社員）同ハルビンへ
▲生越伊助氏（會社員）同
▲大西濟氏（請負業）同來京中央ホテル
▲福井猪和太氏（同）同

航空往來

▲前田芳雄氏（會社員）二十三日午前ハルビンへ
▲寺田辰次郎氏（請負業）午後チチハルより
▲吉田林七氏 同奉天へ
▲龜澤靖介氏（商人）同大連より
▲淸水一成氏（會社員）同ハルビンへ
▲近藤昇三郎氏（電氣工業）同
▲立松芳次郎氏（大連航空官）同午前奉天へ
▲荒川安藏氏（航空兵少佐）同
▲中村一雄氏 同ハルビンより
▲河野安理氏（步兵少佐）同ハイラルへ
▲篠塚義男氏（陸軍少將）同
▲吉本豐士氏（關東軍囑託）同林西へ

社說　滿洲の鹽と日本　鹽業會社設立の意義に就て

一

日滿鹽業ブロックに最重要な役割を演ずるものとして、數年來の懸案となり、內外の注目を惹いてゐた滿洲鹽業會社は、つひに昨日勅令を以て公布され、それぞ〳〵設立委員の任命をも見た。すでに太古の時代より遼河東北の地方に行はれてゐたといふ煮熬法製鹽の時代から考へるならば、滿洲に於ける鹽業にいま持ち來された變革は、まさに劃期的な性質のものであると言はねばならぬ。關東州に於ける鹽と滿洲國各地に於ける鹽とは由來、極めて異つた條件のもとに生產され消費されてゐた。關東州當局は州內鹽が日本の鹽業政策に寄與すべきことを洞察して、早くよりこれが改善に努力したため、その品質の向上、產出額の增加等大いに見るべきものがあつたのである。

二

しかるに、滿洲の舊時代に在つては、舊政權が課稅の對象物として生產費に數十倍する苛稅をかけて來たものである。ために、その發達は阻害され、或る時にはむしろ荒廢にさへ傾いてゐた。滿洲事變とその後に來れる建國とが此の狀態を變革せしむる條件をづくり出したのであつた。むろん鹽稅は、滿洲國稅收の重要な部分を占めてゐたもので、そこに急激な改革は未だ實施されなかつた。しかも國民の鹽務行政改革についての要望はすでに聲高く揭げられてゐる。ブロック經濟完全の方途には、かゝる民衆生活への配慮を輕々にせざるやう注意する事が肝要である。

三

滿洲國政府當局の談によれば、新しい鹽業會社設立の意圖の重點は、日本工業原料鹽の提供といふ所に置かれてゐることが明白である。此の事は、現在に於ける日・滿の經濟が色濃ゆく「非常時性」への緊張で包まれてゐることを示してゐる。本會社がその當初の計畫に於いて、從來捨てて顧みられなかつた地方に新たに鹽田を開發するとともに既設の鹽田を指導改良する事によつて年額二十數萬トンの產出を期待し、これを日本に輸出せんとするのは、日本に於ける化學工業の進展のために大なる資助となるであらう。近代科學の發達と各種工業の勃興とは、その原料としての鹽の需要をますます多からしめ、鹽の生產力の如何は懸つて國力の進展に重大なる關係を持つに至つてゐる。遼東半島の沿岸到る處に於ける氣象上の好條件をあはせた天惠備はる鹽、それがいま躍進日本の工業のために動員されるに至つたこと、それは直ちに日・滿不可分關係の具體的强化であることをわれらは指摘して將來の好望を祝願する

注視の的外蒙事情（十三）
外蒙の變遷とソ聯邦の外蒙侵略

△ソ聯の對外蒙策　ソヴエート・ロシアの對外政策は言ふ迄もなく世界革命を最終の目的とするものであるがその歐米政策に於ては勞働運動即ちプロレタリア革命の達成を目的とし、その東洋政策に於ては打倒帝國主義運動即ち民族革命を主眼としてゐる、しかも既にその魔手をのばしつゝある東洋諸國中にはソ聯の羈絆下にある國と然らざる國とがある、その前者に對しては廣汎なる自治權を與へ、且つ政治、經濟、軍事の各顧問を派遣してソヴエチズムの徹底化を圖り、他方その後者に對してはその國の民族解放運動を援助し、其處に根を張つて居る歐米列强の勢力を驅逐し、以て世界革命の豫備隊を作り、帝國主義の背面を衝かんとするにある、斯る建前から東洋諸國革命のリーダーの育成を目的としてモスクワに設立された東洋大學では（イ）東洋のソヴエート共和國の要求を滿足せしむ可き指導者の養成（ロ）東洋の植民地及半獨立國に於る農民及工業勞働者の姿の革命的要求を滿足せしむべき指導者の育成を二大根本方針として二樣の革命教育を施して居る、處でソ聯の東洋政策に於て外蒙は二者の孰れに屬するかといふに、先づ前者に屬してゐる即ち外蒙は半ばソヴエート勢力圈內にあるものであり、またその圈內のものたらしめんとするのがソ聯の最初からの目的である、斯くソ聯が外蒙をその勢力圈內に引入れんとする强力なる理由は左の二點にある

第一　外蒙が白衛軍若くは反共產主義列國の援助を背景とする勢力によつて支配される事はソ聯にとつて由々敷き脅威であるが故に外蒙を自家藥籠中のものとしソ聯の外壁たらしめんとの重大なる軍事的理由と

第二　外蒙は支那赤化進出の所謂三大コミンテルン・ルートの一根據地である 即ち對支三大コミンテルン・ルートは東路が滿洲であり、中路が外蒙を根據地として察哈爾（內蒙）—北支を貫く線であり南路が新疆甘肅、陝西、四川、湖南、湖北、江西、福建への直通である、しかも滿洲事變後は滿洲國の創生により東路に於る活動を斷念した、それ丈け中路と南路への働かけが猛烈となつた

されば ソ聯は彼の有名なるカラハン對支宣言と相前後して一九一九年八月、蒙古民族及自治蒙古國政府に告ぐるの宣言を發し、外蒙への最初の秋波を送つた、此の宣言に於てソ聯は先づ「ロシア國民は蒙古に關し帝制政府が支那政府との間に締結した一切の條約を廢棄する旨を宣し次で「蒙古は自由の國民であり、國內の一切の權力法廷は蒙古國民のものであらねばならぬ事、そして如何なる外國人と雖も蒙古の內政に干涉する權利はない」と吶附し、最後に「蒙古國民は直ちにロシア國民と外交關係を結び赤軍を迎へるために自由なる蒙古國民の使節を送らん事を希望する」と提議した、此の宣言は最初大した反響も效果も齎らさなかつたが、支那の外蒙自治權取消强要後、獨立派の急進分子とソ聯との接近を齎らす楔となつた、かくて一九二〇年頃にはソ聯の操る秘密結社が生れそれが國民革命黨の中核となつた

こゝに注意すべき事は、ソ聯の謀略、換言すれば外蒙とか烏梁海とか或は現在大童となつて下地工作に狂奔しつゝある新疆等、自己の從屬下におかんとする民族に對し採つた謀略である、即ちソ聯は外蒙、烏梁海、新疆等に對しては直ちにこれをソヴエート國家の組織機構內に入れず、先づ民族自決、外蒙の場合に從へば先づ外蒙獨立の僞裝的スローガンのもとに、先づその革命工作を進める一方、政治、經濟、軍事の最高指導者を送ると同時に、重要な地位には凡て共產主義者を嵌め込んで各部門の機構を完全なるソヴエート機構體に改變せしめ、逐次ソ聯邦の事實的構成分子たらしめる事である

これがため革命の初期に於ては政治的才幹のある各階級の分子を利用し、次には淸黨運動を起して、特權階級出の分子を排擊淸算する一方、將來性に富む無產階級出の青年分子を籠絡し、これを重用する事を手段として臨んだ、これを外蒙の例にとるならば先づ蒙古人の宗教的崇仰の的たる活佛を利用することを忘れず、活佛を君主の虛位に据ゑて最初の政府を樹立せしめた一方、王公喇嘛等の所謂特權階級者にして、政治的才能に富めるものによつて最初の政府の要職は多く占められ、また外蒙政權の主體たる國民黨の中心勢力をなした、しかしそれはソ聯の最終目的ではなかつたから一九二四年活佛が遷化するや、活佛を永久に廢するとともに君主制を斥け、共和國の名によつて半ソヴエート政府を組織せしめた

またモスクワに留學せしめた貧農青年を中心に、青年革命同盟を結成せしめて、國民黨の背後的監視の役割を負はしめ、徐々に國民黨內の掃除をはじめ、王公喇嘛を片端から追放し、その强硬分子に對しては反革命の罪に問ひ、これを死刑に處し、黨の中心勢力を青年の上に移し、遂には黨議を以て王公喇嘛の財產沒收を決議せしめ、更に憲法では最高國家權力機關たる大國民議會の選擧權を王公喇嘛から剝奪した（未完）

遞信關係殉職者慰靈祭

遞信省では十九日本省會議室に於て賴母木遞相等出席のもとに遞信關係殉職者慰靈祭を擧行した、（寫眞は賴母木遞相の祭辭）

丁香盧漫筆（九七）
絕對個人主義（二）

支那と獨逸との此の兩極端の實例は一體何を物語るか？答は極めて簡單である獨逸では醉ばらつて差支無いから醉ばらうのであり支那では醉ばらつてなど居れぬから醉ばらはぬのである。獨逸ではいくら醉ばらつても友人か誰れかが介抱して與れる、誰れも居らねば警官が保護を加へて無事家まで送り屆けて與れる、警官も居らぬといふ場合には醉の醒めるまでは安全に何處かに寢てられるといふ丈の話である。換言すれば治安太平の餘澤が醉漢にまで及んで遺憾なく保護さるゝからである。

×

支那で同一の場合を想像して見ると此は亦大變なことになる、そんな醉ばらひに最後まで付合ふ友人などは支那に居らぬ、これは非友誼でも不人情でも無い自分の事は自分がやるといふ徹底した個人主義から來るので當然のことである、友人が世話せぬやうなものを警官が世話する氣遣は無いから醉潰れた者は最後誰かゞ來て懷中物を掠ぱらつて行く次に通りかゝつた奴は上衣を失敬して行く、其次はズボン下衣と瞬く間に素裸にされて終ふ、それ丈で濟むならよいが怎うかすると生命まで取られて終ふ。此じや如何な大勇の酒徒でもそう簡單に醉ばらふ譯に參るまい、恐らく支那人自身はこんな結果を常に明に意識しては居るまいが、亂世多くして治世稀れなる三千年の歷史に育ぐくまれて徹底的に發達した特殊のインディヴイヂユアリズムが無意識の間にそうさせるのである。少しばかりの酒で直ぐ醉ばらい醜態を演じて世間を騷がす邦人諸君など滿洲も花時が近い少々見習つたがよいかも知れぬ。

×

列車內で支那人乘客が二人並んで坐席に坐はる、掏摸が一方の乘客の所持品をすらうとして居る、本當なら注意してやるべきだがお隣の乘客は見て見ぬ振をして居る、これは支那では當然で怪むに足らぬ抑も社會といふものを認め社會の一員としての自覺から他人の不注意は此方が注意してやり此方の力の足らぬときは他人から助けて貰ふ、こう云ふ相身互の暗默のイデオロギーから社會は發達するのであるが支那の絕對個人主義は斯かる相互扶助的社會觀をてんで眼中に置かぬ、警察も當にならぬ裁判も同樣赤の他人など何のこと信用出來ぬ、いやでも應でも自分の事は自分で始末するより外如何にしても方法が無い、それで盜まれるのは盜まれる人の不注意からで結局盜まれ損であきらむるの外無く、又掏摸を働くといふことも社會といふものを前提にして見れば成程怪しからぬことかも知れぬが絕對個人主義の建前から個人本位に觀るなれば此れも一種の職業である、機會ある每に自己の職業に精進するものを第三者が傍から妨害すべき何等の權利も理由もない、不注意より學ぶべき教訓を濫りに抹殺すべきにあらずとの寧ろ好意から嚴正中立を守るのである。少々厄介なお國振ではあるが何處までも徹底してるから面白い。

惡道路を直せ、と　道路淸掃奉仕
吉林市民學生等の美擧！

【吉林國通】泥濘と埃が隣合せをして存在する吉林の惡道路により直接市民の蒙る難儀とそれによつて市の美觀を損する事とは甚大なるものがあるに拘らず當局に經費充分ならず補修工作は遲々として捗らざる現狀であるが最近市民の間に積極自發的に勞力奉仕して惡道路の補修に當らんとする氣運が起り過般第二中學校が職員生徒を總動員して之をなしたに刺戟せられ、今回は城內北大街自衛團長孫稚東氏が發起し團員一〇八名と共に十五日より廿日迄每日八時間の長い時間を割いて德勝街から草市街に至る一帶の道路を補修しいたく稱讚されてゐる

全鮮の結核豫防協會設立　延期さる

【京城支局發】池田總督府警務局長最後の置土產として過般創立された朝鮮結核豫防協會の誕生と相俟ち全鮮各道においてもこれが協會設立の計畫が進められ二十一日より警務局各課長、事務官、衞生技師等各道に出張、中央における協會と同一機構の各道結核豫防協會設立促進に拍車を加へ、本月中には全道一齊に創立總會開催の運びに漕ぎつける豫定であつたが今回突然池田警務局長の內地轉任決定により右關係官の出張も後任局長決定まで見合されることゝなつた結果これが總會開催は多少延期を見ることになつた然し本事業は局長の更迭に拘りなく最初の方針通り遂行の計畫である

軍犬支部總會

滿洲軍用犬協會新京支部では來る二十六日午後一時から室町小學校で通常總會を開催するから會員は繰合せ參會を乞ふと

商況欄（四月廿三日後場）

金銀市況

●上海標金　前引 一二三、七〇　後寄 一二三、六〇　步 —

●大連金鈔票　寄付 [illegible]　引 [illegible]　高 [illegible]　安 [illegible]　出來高 [illegible]　步 [illegible]

▲四月二十八日限　五月十三日限　寄付 [illegible]　出來 不申

●大連鈔票銀大洋　現物 二三〇〇　二三〇〇

爲替相場

▲上海爲替
- ▲日本向 第一回賣 一〇三、三七五
- ▲倫敦向 第一回賣 一志二片 三二分七五
- ▲紐育向 第一回賣 二九弗 一六分三ノ八分七

▲大連爲替
- ▲上海向 一〇六、〇五　出來高 五千
- ▲香港向 不申

株式相場
▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品新	[illegible]	[illegible]
豆鈔新	[illegible]	[illegible]
錢鈔新	[illegible]	[illegible]
東鐵新	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]
二產新	[illegible]	[illegible]
日勸	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]

▲奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
日產新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]
二甲	[illegible]	[illegible]
電乙	[illegible]	[illegible]
同拓	[illegible]	[illegible]
東亞	[illegible]	[illegible]
東興	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]
滿先	[illegible]	[illegible]
優	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

▲橫濱生糸　現物 [illegible]　當限 [illegible]　先限 [illegible]

▲大連麻袋　現物 三八錢　四月限 [illegible]

各地特產市況

●大連大豆　寄付／引：袋入 [illegible]　四月限 [illegible]　五月限 [illegible]　六月限 [illegible]　七月限 [illegible]　八月限 [illegible]

●同 豆粕　現物 [illegible]　四月限 [illegible]

●同 豆油　現物 [illegible]　四月限 [illegible]　五月限 [illegible]　六月限 [illegible]　七月限 [illegible]　八月限 [illegible]　九月限 [illegible]

●同 高粱　現物 [illegible]　四月限 [illegible]　五月限 [illegible]　六月限 [illegible]　七月限 [illegible]　八月限 [illegible]

●哈爾濱 大豆　五月限 [illegible]　六月限 [illegible]　七月限 [illegible]

●同 小麥　五月限 [illegible]　六月限 [illegible]　七月限 [illegible]

●神戶 豆粕　四月限 [illegible]　五月限 [illegible]　六月限 [illegible]　七月限 [illegible]　八月限 [illegible]　九月限 [illegible]

新京取引所市況（四月二十三日後場）

現物（一石値段）　寄　引　出來高
- 大豆 [illegible]　二車
- 高粱 —　—
- 小豆 [illegible]　一車

定期（混合百斤値段）
- 大豆 四月限 [illegible]　三車
- 大豆 五月限 [illegible]　五車
- 高粱 四月限 —
- 高粱 五月限 [illegible]　三車

手形交換高（二十三日）

金票 [illegible]枚　鈔票 一枚　國幣 [illegible]枚

鮮魚小賣相場（百匁ニ付 二十三日）

品名　最高　最低：活鯛 一、二〇 六六　氷鯛 六〇 五二　以下 [illegible]

南滿

旅順必死の甦生策！ 漁港施設を充實
隣接大連港への挑戰策として 水產業者蹶起す

【大連支社發】吾等の旅順の爲めに聖地旅順の發展の爲めにと今回旅順に於ける聯合町內會、振興會、金融組合、水產業者等一丸となり

天然の漁港を持つ旅順に何等の施設なく大連漁港の具現化は旅順を亡すものとし漁港旅順に於て發動漁船二十隻新造許可、本漁船の捕獲せる魚類は全部旅順に陸揚げのことと請願書を作製、民政署長を通じ州長官に提出するところがあつたが右は許可あり次第會社組織を以て旅順を中心とする近海漁業の發展に資せんとするものと見られ成行は注視されてゐる

建築規則違反者 徹底的に處罰
沙河口署一般關係者に警告

【大連支社發】最近の大連に於ける各種建築の增加は異常の躍進的數字を示してゐるがこれ等の中には建築規則を無視し當局に對する手續を怠り建築又は工場施設をなすもの漸增の傾向にあり之が取締方については此際徹底的に各管內に於ける此種違反者の絕滅を期し發見と同時に嚴重處罰に附する方針であるが、之等違反者は西部大連に相當數ある見込にて沙河口署では一般建築業者等に對し警告する處があつた

大連西本願寺の 花まつり

【大連支社發】大連西本願寺關東別院に於ては四月二十二日より二十六日までの五日間に亘り釋尊降誕花まつりを行ふが行事は

▲二十二日午後五時ラヂオ放送▲二十三日正午交通會社從業員慰問▲二十四日午後三時郵便電報局員慰問▲二十五日午後七時大連醫院慰問▲二十五日午後二時おとぎ大會（於大連幼稚園）午後七時映畫と講演（別院）▲二十六日午前十時奉祝行列、正午灌佛奉讃法要（本堂）午後一時三十分奉祝餘興（別院）

右の如く聖德讃仰感謝の行事が催される、なほ二十六日は甘茶の接待が行はれる筈

滿鐵社員は 圖書館無料

【大連支社發】滿鐵圖書館では從來滿鐵社員と雖一般閲覽者と同樣金二錢の閲覽料を徵してゐたが四月二十一日以降之れを全部無料閲覽を許すこととなり滿鐵圖書館としての本然の姿に歸ることになつた

武部總長披露宴

【大連支社發】關東局總長武部六藏氏は二十四日午後六時三十分大連ヤマトホテルに旅大官民各界代表を招待して就任披露宴を催す

缺員中の大連 市助役 玉田氏就任

【大連支社發】大連市財務課長は直鍋良助氏が助役昇任に伴ひ缺員中の處今回丸茂市長は前豐橋市庶務課長玉田忠一氏に交涉承諾を得たので二十一日任命された玉田氏は昭和五年豐橋市庶務課長に就任本年三月辭職して居た人である

中央卸賣市場 板井組入札

【大連支社發】大連市中央卸賣市場は都市計畫の都合上改築されるに決し市では十一年度豫算に計上二十二日請負工事の入札を行つたが總入札者十七名で板井組が二十八萬八圓で落札した、最高入札者は飛島組の四十四萬九千八百圓であつた

匪賊の根絕を期して 警戒網を充實
錦州省公署積極的準備を進む

【錦州國通】錦州省公署警務廳では省內に出沒する匪賊を徹底的に取締る方針の下に警備網の完備を急いでゐるが、本廳と北鎮、阜新、彰武の各縣を聯ぐ警備用電話線の架設工事は目下着々として進められをり、最近更に傳書鳩を朝陽新立屯の兩地に百羽宛て飼育して附近一帶の非常警備に備へることとなつた

安東縣城築堤工事 月末より着工
―國庫負擔金も交附さる―

【安東國通】地元負擔金問題に依つて難關に逢着して居た安東縣城築堤工事に關し民政部では省並に縣の現地意見を聽取の結果來る二十六、七日頃迄に縣公署より負擔金の財源計畫案を提出せしめ若し妥當な案であれば直ちに認可する事となつた又主計處に於ても本工事に要する國庫負擔金を國道局に交附し愈々本月末より着工の運びとなつた

全鮮金融機關 第二次利下

【京城支局發】全鮮各金融機關は既報の通り二十日より一齊に定期は四厘宛、日步は一厘宛利下を斷行したがいはば之は第一次的の引下で下半期にも入れば更に二、三厘方の第二次引下は當然來るものとされてゐる、而して內地甲種銀行は三分台、朝鮮では三分五厘台の低金利を示現するものといはれてゐる

池田局長後任は 府部內から 詮衡

【京城支局發】池田總督府警務局長の北海道長官榮轉に伴ふ後任詮衡については目下今井田政務總監自ら愼重腹案を練つてゐるが原則として新に總督府部內から詮衡の方針を立て宇垣總督の歸任を俟つて後任警務局長を決定するものと見られてゐる右に關し池田總督府警務局長は語る

在鮮既に五年、豫て官界引退を決意してゐた矢先內地轉出の報を得て驚いてゐる轉出先の孰れであるかは關知しないが假りに北海道とせば總督總監の御配慮の賜として深く感謝する次第であり北海道は今秋は陸軍特別大演習も擧行され畏くも聖駕を奉迎することとて果して大任を全し得るや只管懸念に堪へない、後任は相川氏說が傳へられるも夫れは何等かの誤傳であらうが自分の考へを以つてすれば部內より起用されるだらう、顧れば五年の昔に總督總監と同時に赴任した自分が總督、總監より先に離鮮することは誠に相濟まぬ氣持で一杯であるが總督、總監の御配慮による官命なれば又喜んで御受けする次第である

尚同局長の出發日其他は目下のところ未定である

日滿直通運賃に魁け 鮮滿特定運賃設定
鮮滿貿易好轉せん

【京城支局發】朝鮮鐵道局では來る二十八日日滿直通貨物輸送會議の終りに引續き鮮滿直通貨物運賃設定に關し滿鐵側と協議を開始することとなつてゐるがその協議概要は鮮滿間直通輸送貨物として三十三品目を設定して特定運賃を定め日滿直通運賃に魁けて實施する筈である、實施後は從來の高率をかこたれた安奉線運賃も或る程度の引下が實現するわけで鮮滿貿易は著しく好轉するものと關係方面で期待されてゐるなほ問題はどの程度の引下となるかにあるが目下鐵道では三十三種目に亘る貨物別運送數量の過去統計を作成中であるがかく滿鐵の態度が變化して來たことは注目さるべきで更に鮮滿將來に對する一の暗示とも目されてゐる

朝鮮放送局 各種講座 開設

【京城支局發】朝鮮の放送事業はその主力を第二放送（朝鮮語）に注ぐのが本來の使命であるので今回五十キロ改裝を機として朝鮮放送協會の各種事業計畫もこの目的遂行に向つて今後の方針が確立されるものと期待されるが、放送部自體のみの計畫について見ても公民講座、都市、婦人講座、農村講座等より積極的實施の必要が痛感され之に伴つて各種テキストの編纂等多分に可能性をもつに至つたのでこの情勢に順應し第二放送課では各方面に亘つて調査研究を進め各種プランの立案に努力を拂つてゐる

東滿

邦人兒童激增に應じ 愈よ校舍の增築着工
來春期し總工費十五萬圓で

【吉林支局發】當地日本小學校現在兒童數は九百四十六名に達し躍進吉林の在吉邦人の增加と相俟つて過去僅か一年間を通じて二百餘名の激增を見せて居るが、此の步調を辿るときは來年の新學年度始めには現在の學級のみにては到底全兒童を收容し得ないであらうとの見地から增築方申請中のところ今回滿鐵本社の認可を得て校舍の增築、雨天體操場兼講堂の新築を爲すこととなり目下諸準備を進めると共に設計を急いで居るが、總工費は十五萬圓程度で明春解氷期迄には着工の運びに至るものと見られて居る、即ち來春着工される增築校舍は二階建で室數は校長室を首め應接室、特別敎室（四）、普通敎室（四）、其他小使室、便所等合計十八室となつて居りこれが延べ坪數は約二百六十坪である、又雨天體操場兼講堂は千五、六百名の兒童を優に收容し得る豪壯な平家建で面積は約二百四十坪である

東新京站 無事故で表彰

【吉林國通】京圖線中東新京站は康德二年十月一日より康德三年一月廿八日迄運轉責任事故が皆無であつて優良なる成績を擧げてゐるので四月十日附を以て吉林鐵路局長より表彰狀を與へた

中銀圖們支店 支配人更迭

【圖們國通】滿洲中央銀行圖們支行支配人佐竹勇一郎氏（宮城縣人）は今回新京本店詰を命ぜられ後任には本店から富田規矩雄氏が派遣されて來圖した

滿洲國軍訪問記（五）
延壽縣治安隊の初陣 吉谷部隊奮戰！
ハルビンにて 杉原特派員

珠河第〇〇團の兵舍に一夜を明かした記者は翌朝五時延壽縣長の引越しトラックに便乘して延壽に向つた

延壽縣治安隊本部の兵舍は事變當時約一ヶ月半、多門〇團の司令部が駐屯してゐた由緒あるもので、その後日本軍が引揚げると忽ち紅槍會匪がこの建物を占據し再び日本軍の出動となり、それが引揚げるとまた紅槍會匪が五月蠅く寄り付くと云つた風で、康德元年山林警備隊本部が置かれてけふ治安隊本部の設立を見てるまで此兵舍の變轉極りなき經史は如實に此地方の治安狀況を物語つてゐる

一縣を擧げて紅槍會匪の秕政下に置かれたこともあるのだ

こんな具合で城內には今でも匪賊の密偵が澤山入り込んでゐる、記者は前後に十名の護衛を付けられて町を一巡して見た、時々人相の惡いのがギヨロリとこちらを見る

「あんな奴は怪しいです」と案內の吉谷上尉が振返つて見る、少々薄氣味惡くなつて

「通り縋りにポンとやられたらそれまでゞすね」と訊ねると武器は持つてゐない、大丈夫だ、近頃の密偵は大抵武裝解除して來るのでそれは捕つた時却つて確證が擧るからだと云ふ話だつた、縣城の四隅には砲塔が築かれてゐて治安隊員が監視してゐた

□

現在隊員は既に縣內に分散配置され附近の掃蕩に當つてゐる、勿論訓練の餘祐などあらう筈がない

現に記者が訪れて本部の兵舍を覗いで見ると去る十九日の二道河子南方地區の戰鬪で傷ついた兵たちは綿の如く疲勞し切つて横つて居り、兵馬は皆負傷して跛行してゐると云ふ有樣だつた

「元氣なのは僕だけですよ」と吉谷上尉は笑づた、此戰鬪は當時逸早く「治安隊初陣の功名」として紙上に報道されたものであるが、記者は延壽の一夜を暗いランプの灯で照されながら具に當時の戰鬪狀況を聞くことが出來た

□

三月十八日午後三時頃である、治安隊本部には次の如き情報が入つた

延壽縣南方約六十滿里石道河子附近の山間谷地に子仁義、亞東洋、海龍等ら合流匪約三百名蟠居し目下附近部落より盛んに人馬を拉致しつゝあり

首席軍官吉谷上尉は直ちに三川縣指導官らと協議して出動部隊の編成に着手した

討伐計畫は挾擊敵の襲込みを奇襲するにあつた、午後十時出動準備は完了した、明けて十九日午前一時治安隊騎兵通五十名、步兵通卅五名及び警察隊九十三名より成る討伐軍は鬚髯蓬々と伸ばした吉谷上尉の颯爽たる騎馬姿を先導に本部を進發した、灌木地帶を縫つて匪賊の通路となつてゐる薪運搬路を粛々と進む一隊の黑い影が雪明りに照し出される、積雪膝を沒する難行軍である

やがて目的地から二三滿里附近で橇を操つた年老いた農夫が捕つた、恐らく山中で耳や人參を採取する男であらう訊問して見たら匪團の本據が大體見當ついた、そこで吉谷上尉は突嗟に策戰を變へて敵を背後より奇襲しようと決した、然し仰げば時方に天明を告げ一刻を急がねばならなかつたかくて警察隊は南方前面より向ひ、治安隊は北方より迂廻すること三キロ敵の背後に迫つて行つたこゝで吉谷上尉は孫少尉に一個排を引率せしめて南方高地占領を命じ、自分は殘り部隊を指揮して目前五〇〇米の高地へ馬を索いて登攀し始めた、積雪は腰を沒し手にした軍刀はズブリ柄まで埋まる、前進は遲々として阻まれる

□

一隊が漸く山腹に達せんとした時である、早くも敵の步哨は發砲して來た、直ちに展開命令は下された、山蔭に馬隊と監視兵が殘され部隊は進軍喇叭を吹奏して前進を續けた、と、それに呼應する如く匪團の喇叭が山頂より響いて來る續いて敵の一齊射擊が始つた、味方も火蓋を切つて落した

敵は極く眼近にゐる、その數は約百名と推測された、匪團は山頂の大木の切株や山小屋を利用して息詰る程の猛射を加へて來る

正確な小銃の委託射擊だ、機銃の點射が間斷なく威嚇して來る、吉谷上尉の熱い軍官帽は匪彈の目標となり彈丸はブス、ブスと身邊を掠める周圍は彈道の林である、前後左右にパッパッと粉雪が飛び上る傍らの樹皮が剝れてこつ酷く顏にぶつつかつて來た、交戰時余、積雪で進退の自由は利かない、もう駄目か と思はれたが次の瞬間吉谷上尉は傍の兵から輕機を引つたくつて猛烈な掩護射擊を加へて、兵に突擊を命じた、遮二無二な突擊、ドッと敵の態勢が崩れて行つた、漸くにして一部の高地が占領されたこの時孫少尉の部隊も南方高地を占據したしかし敵は谷地を下り更に前面の最高地に據つて居るのであつた、一人の兵が側にやつて來た「軍官殿請看」（軍官殿見て下さい）と云ふ、見れば小銃彈が掠めたらしく、服の臀部はボロボロに裂かれて居るのであつた

家庭

非常時軍備への關心 女軍前線に躍進
男子に代り家庭から戰場へ
見よ！各國の女子軍事教練

世界大戰の前までは家庭を守つて良妻賢母たる事を唯一の務めとしてゐた歐羅巴の女性達も家庭から街頭へ街頭から戰場へといふ具合に奔流を餘儀なくされて男子に代る女巡査も出來れば女消防手も現はれる有様となつた。

特に「ドイツ」では看護婦は十才から志願し軍需品工場には七十萬の女工が無給で働きは例の再軍備宣言と共に女子も男子同樣兵役に就く義務を負ふことになり總て積極的に軍事訓練をやることになつた。とりわけ最近ドイツの防空熱は婦人に於て最も盛んで各地に設けられてある防空學校(ハフトシユツ・シユーレ)には殆ど皆特別婦人部があり將來女軍を形成し得る女子學生に對して本格的の防空教育を施し相當の成績を擧げてゐる。「アメリカ」の女軍には此頃ラッパ隊が

編成さ

れたと云ひ「チエッコ」では特殊婦人軍が簒成されつつあると傳へられる此の傾向は「イギリス」及び「フランス」にも現はれ、既に大戰に多くの男性を失つた若い經驗から婦人をして軍事的關心を深刻ならしめてゐる。從つて一にも軍備二にも軍備と世界を擧げて非常時の今日此頃特に注目すべきは何處の國も有事に處する女子の訓練を本格的にやり出したことで例へば「イタリー」では女性國防軍が組織されて勇敢なところを見せ「エチオピア」には婦人義勇軍が編成され之は

第一線

にまで馳せ參じるといふ物すごさである。特に興味のあるは最近自然化しつつある「ソ聯邦ロシア」の女軍である、既に完全な男女同權力だけに男女の區別なくあらゆる方面に動員されてゐるが現在女子で軍事學校長をしてゐる者が八名、軍隊の指揮官として任務に就いてゐる者七十二人もゐる、有名なオソアビアム(國防化學飛行協會)には婦人飛行學校が九校もありウオロシーロフ狙撃兵の中には十萬の婦人が所屬してゐるのだから驚かされる。又、

支那は

曾て國民革命軍當時蔣介石所屬の女軍が約四百名ほどあり何れも緑の黒髮を惜氣もなく切り捨て五分刈頭に軍帽を被り短いスカートにワラジ穿きといふ變つた女軍であつた、之は國民黨部の婦人黨に屬して相當の勳功を樹てたものである。漢口には孫文の未亡人宋慶齡女史の創設に係る國民黨婦人訓練所があつて現に多數の婦人達が熱心に科學的軍事訓練を受けてゐる、之は國民軍の背後又は

軍に從

つて專ら宣傳勤務に從ふもので、一と通りの教練は勿論兵器の取扱ひから飛行機の操縱もさせてゐる。支那には又到るところに女子共産黨員が散在してゐて之れ亦軍事的に隱然たる活躍を見せてゐるが、最近共産女子青年團長邱寶秀といふ芳紀正に二十二才の一女性が捕へられたが其の告白するところによると十六才以上二十二才までの女子は凡て團員として毎日兵式體操を行ひ恐怖羞恥の念を除くために言語に絶する訓練までさせてゐるといふことである

疎かにされ易い 幼兒の食物
食べて良いものと惡いもの 母親への注意！

幼兒の食物は、離乳期と同じく先づ三歳四歳位の時はやはり重に植物性のものを主としたものは之

(動物性)

を從とする方針が宜しい。そして滿二年過ぎましたら、健康な子供でしたら特殊なものを除き、だんだん裏漉しは止めてよいのです。そして主に普通の嚢の目に(コーヒーの角砂糖八つ切角)切り、適當に味をつけて氣永に煮ます。それから子供に眞似させるが宜しいのです。どうしても一つの食物を七八回乃至十回以上咀嚼する習慣をつける必要があります。又物によつては、擂つて固めて與へるのもよい、例へばくわゐを擂つて卵の白身とメリケン粉で

(咀嚼し)

て見せて子供が之を食べる時には、能く嚙んで食べることを、十分に教へることが最も必要です。初めは親が子供の前で、能く

あげて煮て與へるといふ風に魚にしても一度擂身にして丸てゆでて與へるといふ風に。この時期ではあらゆる煮魚は與へて宜しいのです。滿二年半ですと、鳥のたたきなどを與へてよいのです。

(野菜も)

殆ど凡ての種類のものを與へて宜しい。次に果物は必ずしも汁でなくても宜しい即ち果物を初めはおろして、そのまま與へるのです、後には(二年以上)其まま與へて宜しい。主食は柔かい御飯で結構です、先づ匙で初め與へ後には箸を使はせると宜しい丸三年以後になつたら、殆ど大概のものを與へてよいので

す。ここで注意しなくてならないのは、カツレツの如きは學校へ行くまで與へてならぬ事です。能く世間にはこのカツレツで失敗した例が多いのですから。次に幼兒期には

(絶對に)

食べていけない物がありま す。それは何かといふと總て辛いもので、辛子漬、唐辛子、胡椒の入つたもの、カレー粉の入つた物その他豆類香の物等であります。人によると、蛸、烏賊、鰯などを禁ずる人もあります。洋食の中でもシンチボールやマカロニーなどは寧ろ大變によろしいキヤベツの柔かに煮たものも亦結構です。

ウインクの是否？
皆さん「流し眼は 使ふ可からず」
やぶにらみになります

元來

此のウヰンクと云ひ流し眼といひ盜み眼と云ふも何れも兄弟分の眼つきと考へられます。此の種の眼の使ひ方は正しい眼の使ひ方ではありません。正しい眼の使ひ方は、見やうとする對象物に何つて顏が正しく直面すべきものです。

そこで流し眼づかひはなぜ視力が惡くなるかと云ふと、即ち右の方に強く横眼を使ふとすると、右の方の眼では顏を

(正面)

にして百三、四十度の後の方を見る事が出來ますが、左の眼の方は鼻に邪魔されて五十度位までしか見えません、斯樣に兩眼が同時に同じ程度に見えないで、左右いづれか一方だけにしか見えない位置で物を見ると、見えない方の眼はやぶニラミになるばかりでなく、此の傾向が增長すると潛伏性斜視を起し遂には讀書や

(裁縫)

が續けられなくなります、而も此の潛伏性斜視は子孫に遺傳するものですから益すく以て流し眼は危險と云ふことが出來ます。

お料理獻立
支那風の筍飯

これは炒春 飯と申しまして、支那料理の筍御飯でございます。冷い御飯の利用法としてもよろしうございますから申上げませう。

【材料】(一人前) 白飯お丼に八分目、筍二十匁、サヤ隱元少々、鹽鱒罐詰小罐の四分の一、鹽茶匙一杯醬油少々、ラード三勺、調味料少々

筍、サヤ隱元はゆでゝ切つておき、ラードで先づ御飯を炒め鹽、鱒、筍を炒め、醬油、調味料、サヤ隱元を加へて炒めます。

△廿四日は京都府の國幣中社籠神社、岡山縣の國幣中社中山神社が何れも例祭日。
△柴田勝家が賤ヶ岳の合戰で一敗地に塗れ、自ら北の庄の城に火を放つて潔く自刄したのは天正十一年の四月廿四日でありました。
△今日を誕生日とする人に矢島楫子女史(天保五年)があります。
△スエズ運河の開鑿工事は西暦一八五九年のこの日から始まり、十年目に竣工したのであります。

ラヂオ けふの番組
(M・T・C・Y 新京放送局) 廿四日(金曜日)

(朝)

六・〇〇 建國體操
六・二〇 ラヂオ體操(東京)
六・四〇 初等滿洲語講座(大連) 講師 秩父固太郎
七・〇〇 初等日本語講座(奉天) 講師近藤 喜助
七・二〇 氣象通報(大連)
引續き 朝の音樂(レコード)(大連)

一、管絃樂
A 歌劇「興 行 主」序曲 モーツアルト作曲
B 歌劇「イドメネオ」序曲 ウイン交響管絃樂團 指揮アールベーガー
二、二重奏 廢笛の主題に依る變奏曲 ベートーヴエン作曲 チエロ エマヌエルフオイヤーマン

(晝)

〇・〇一 經濟市況(大連・引續き新京)
〇・二〇 晝の演藝(レコード)
思ひ出の流行歌(一)
一、東京行進曲 佐藤千夜子
二、銀座の柳 四家 文子
三、女給の唄 藤本二三吉
四、東京音頭 小唄勝太郎 三島 一聲
五、さくら音頭 小唄勝太郎 三島 一聲

ピアノ テオフアンデミパス
八・三〇 經濟市況(東京)
九・〇〇 早晨演奏
九・二〇 料理獻立(奉天)
九・四〇 經濟市況(大連)
一〇・〇〇 家庭講座(哈爾濱) 哈爾濱日本第二小學校 森 久嘉
子供の繪
一〇・二五 家庭メモ
一〇・三五 經濟市況(大連)
一〇・四〇 經濟市況(東京)
一〇・五九 時報(東京)
一一・四〇 ニュース(東京・引續き新京)

春怨！哀調に唄ふ アリラン外四曲
半島の人氣歌手を紹介

【後七・三〇 京城より】

唄……鮮于一扇
唄……姜 弘 植
伴奏…DKオーケストラ
大…金 永 根

鮮于一扇、姜弘植共に朝鮮に於て壓倒的人氣を有する流行歌手鮮于は平壤出身の妓生でポリドールの、姜はコロムビアの何れも專屬歌手。

一、長調アリラン
(大 伴奏) 王 平作詞(鮮 于)
(イ)馬は嘶く行かねばならぬ、そこを放しやれ、行く身もつらひ、アリラ ンアラリヨアリアリ越へよか
(ロ)空に飛ぶ雲傳へて兒りやれ、想ひ一筋、君を慕ふと、アリランアラリ

二、青春打令
劉道順作詞 金駿泳作曲(姜)
(イ)エー花に集る胡蝶をせめな、花さへ散れば來はせぬに、エー青春よ樂しく其の日を過せ、七仙女の愛も若い中よ(オルシグ、ゾルシグ歌へよ踊よドリドンギドンシルわれ等は若い)括弧内各節繰返し
(ロ)エー枯木に六花の花が咲かうと手折れは變らぬ白雲よ、エー青春よ樂しく其日を過せ、君を迎へて共に杯を擧げん

……鮮于一扇さん

ヨアリアリ越へて行く

……姜弘植さん

三、新リリ、ヤ
王 平作詞 金教聲作曲(鮮 于)
(イ)主は間も無く御越しであらう、雨具持て行くゆく先は何處よ、あゝあゝあ困つたよ、ゆく先は何處よ
(ロ)別れの約束忘れもしたか、月が出たのに姿を見せぬ、あゝあゝあ待つ身はほんにつらいよ

四、春の夢
趙鳴岩作詞 金駿泳作曲(姜)
(イ)焦れ〳〵て結んだえにしを、水に流して泣いて別りよか、今は春かよ流れに添ふて、青々春の芽悲しじやないか、アリアリラリの峠はつらい泣いて、泣かれてアリア

リ越へるよ
(ロ)逢ふより別れが早いじやないか、泣いて手握りや言葉も出ない、涙ハラ〳〵袖にかゝるよ、いとし君とも之が別れか、アリアリアラリの峠はつらい、泣いて泣かれてアリアリ越へるよ

五、鴛鴦の歌
李王 平相作詞(鮮 于)
(イ)柳に鶯離れぬものよ春風吹く吹くよいよい踊ろよ
(ロ)あなた蝶々わたしは菜の花、花の香に香によいよい踊ろよ
(ハ)あなた流れよ私は水鳥、波の間に間によいよい踊ろよ
(ニ)あなた青松私は鶴よ春は緑だよいよい踊ろよ

北村小松原作の ラヂオドラマ「觀光日本」
■……P・C・Lの連中が出演

【後七時 東京】

第一景 ある田舍

一生の思ひ出にと東京見物に來た一人の田舍の老人、自分の田舍へ歸り、村の青年男女に國内觀光施設の實によく完備してゐることを話し、この田舍も觀光には非常によい地であるから、皆の努力によつていくらでも觀光客を誘ふことが出來る。そしてそれは當然村の經濟を豐かにするもので、つまり觀光も産業であるといつて聞かせる

第二景 街のホテル

さて舞臺は帝都に移る。ある一人の洋行歸りの青年紳士と觀光事業に携つてゐる淑女とが、結婚の見合をしてゐる。この青年は外國かぶれで、只管外國見物の自慢ばかりしてゐる。そのため淑女は青年の外國びいきを嫌がり、遂にこの結婚話も破綻に終るのである。他一景

浪花節
皆傳行安 龜甲齊虎丸
【七・五〇】

勢州津の藤堂和泉守の臣枝田眞助は須貝彌十郎から卜傳流の免許を許された者だが、短慮が禍して主家を浪々し堺に佗住居をしてゐた卜傳流は免許狀を與へず下緒に茶の二筋緒をつけた波の平行安の名刀を與へるのが免許の印になつてゐる。

……龜甲齊虎丸さん

◇……………◇

或日他出して歸宅すると行安の刀がすり替へられてゐたので武士魂を替へられる樣な女は女房に出來ぬ早速とり戻せと女房おりせを離縁する。おりせは里方に戻り浪華の天滿宮に神願みする折しも名代の刀鍛冶津田助廣の仕事場からの槌音を耳にし、助廣に替えられた刀の目きゝを懇願すると弟子助國の作で同じく須貝彌十郎の門人郡大二郎に頼まれたと判る同行しての道すがら助廣がおりせに無體を言ひかけるところに、郡大二郎が現はれ、いまはの父を喜ばせたさに爾々と打明け、今は用もすんだれば御返却すると詫び入る。

◇……………◇

喜んだおりせは翌日大二郎と共に堺に赴くと、圖らずも途中で夫枝田眞助に會つた。短氣な眞助は直ちに不義者と斬掛けたが大二郎の敵ではなく受太刀となる。茲で大二郎は眞助の短慮を懇々とさとし、行安を返却するといふ一席

(夜)

〇・四〇 建國體操 德 山 漣
一・〇〇 白天演藝哈爾濱
一・二〇 ニュース(滿語)
一・三〇 市民講座(滿語) 關於新京特別市の産業一般並社會事業 新京特別市政公署 行政科長 王 傳 岩
一・五〇 下午演奏
二・〇〇 經濟市況(大連) 引續き 日用品値段(滿語)
二・五〇 經濟市況(東京)
三・〇〇 ニュース(東京・引續き新京)
三・三〇 經濟市況(大連・引續き新京)
四・三〇 ニュース(鮮語)
四・五〇 引續き 演藝(鮮語)
五・〇〇 ニュース(英語)
五・〇〇 子供の時間(奉天) お話 世界選手權土産 木谷 辰巳
五・二〇 コトモの新聞(東京) 關屋五十二
五・二五 氣象通報 番組豫告
六・〇〇 ニュース(東京)
六・二〇 今晩の番組 官廳公示
六・二五 政府公報(滿語)
六・三〇 國民の時間(哈爾濱) 滿洲國協和會濱江省聯合協議會之感想 哈爾濱鐵路局産業處長 張 明 哲
七・〇〇 ラヂオドラマ(東京) 觀光日本 北村小松・作 竹久千惠子 外
七・三〇 歌謠曲(京城) 唄 鮮于 一扇 唄 姜 弘 植 伴奏 DKオーケストラ 大 金 永 根
七・五〇 浪花節(岡山) 皆傳行安 龜甲齊虎丸
八・三〇 時報・ニュース(東京) 引續き ニュース
八・四五 氣象通報・ニュース・經濟市況 番組豫告(滿語)
九・〇〇 滿洲演藝(哈爾濱)
一〇・〇〇 北滿の時間(哈爾濱)

恐るべき鼻疽に就て (上)
馬政局理事官 安達誠太郎

恐るべき馬の病氣鼻疽は曾つては世界各地に蔓延し特に歐洲東部諸邦就中露西亞に多かつたが、歐醫警察法の勵行に依つてその數を減少した、然るに世界大戰の勃發と共に再び交戰各國に流行するに至り各國共之が爲に非常なる打擊を被つた、その一例として獨逸の如きは一九一五年より同一九年に至る五年間に發見したる鼻疽馬は實に三萬六千餘頭に及び

この過半數を

撲殺した、滿洲國も鼻疽の常在地として夙に知られてをり當局の調査によれば總馬數の大約三〇%に及ぶといふ驚異的高率を以て全滿に蔓延してゐるものと推定され就中昭和五年塞天北大營に於て僅か一二ヶ月の間に七百七十六頭の馬群中四百頭餘りの多數を失ひ又同七年奉天東大營の中央訓練所に於ても約一ヶ月の間に隊馬四百七十九頭中三百頭近くの馬を斃したこと等は最も著明な例である

斯樣に鼻疽は滿洲に於ける二大家畜傳染病として炭疽と共に實に滿洲馬産の癌であつて産業開發上の一大障害であるばかりでなく軍事上至大の關係を有する問題なのである鼻疽の自然感染の場合は

數週乃至數月の

潛伏期を經て粘膜とか皮膚、内臟等に小結節が出來て潰瘍するが中には急性經過を取るものあり又は不治の病として長きは數年慢性的に經過して斃死するものもある、この傳染の媒介となるものは通常病馬の鼻汁とか皮膚潰瘍の分泌液であるがその他唾液、糞尿等の中に病源菌が含まれてゐることもある

感染の經路は通常消化器即ち經口的であつて其の他呼吸器及皮膚等からも感染する、而して恐るべきは人體にも直接若くは間接に感染することであつて直接原因となるのは鼻疽馬との接觸であつて馬夫御者、獸醫師、蹄鐵工及革製業者等に多い

感染例としては鼻疽の肉を喰ひ感染したものとか甚しきに至つては無智な農夫が馬の腦が「リウマチス」に效くと云ふて、鼻疽に依つて斃死した馬の腦を

自分の腰や手に

塗つて感染したと云ふ悲慘な例もある

人體感染に於ては三日で死に轉歸する程の甚急性のものもあるが普通は一—二ヶ月で稀には二ヶ年も病床に呻吟して遂に衰弱死に至るものであるその徵候は一般傳染病と同樣であるが頭痛或は嘔吐、下痢を催し患者は不安を訴へ之に筋肉或は關節の疼痛が伴ふ初患部は四肢及顏面で先づ小赤疹が現れ、やがて小結節となり潰瘍となり體表或は内臟等到る處に傳染するが、この間常に高熱と激痛があり、丁度鈍刀で神經を抉り突く樣であるとの事である、斯樣な譯であるから鼻疽撲滅には世界を擧げて之が研究に沒頭してゐるのであるが未だ豫防藥、特效藥は勿論の事

對症療法すら

發見さるるに至らず、依然學界の謎として殘されてゐる狀態である、併しこの研究は非常に危險が伴ひ滿洲に於ても昭和六年奉天獸疫研究所の伊知地君の殉職を始めとして本年一月以降同研究所鼻疽研究室の豐島技師、古賀助手等相次で尊き犧牲となり學界空前の悲慘事を惹起して世人を驚愕せしめた

故豐島氏は過去十ケ年に亘りこの研究に沒頭しその豫防法の發見は囑望されてゐたのであるが、研究の完成を前にして恐るべき病魔の禍するところとなつて斃れたことは誠に痛惜に堪へぬ次第である

學藝

北市場の女

千刈藻彦

「對了、對了。その蘭芳よ、よく覺えてゐて下さつたのね!」

蘭芳は握り合した手に力をこめ、婉然と顏を綻した。自分はこの氣紛れなよその國の靑年の名を思出さうたつてそれはまるで雲を掴むやうなことだ。僅か、二、三偏訊いたことはあつたわ。妾なんかには、とても判りにくい口音の名、それに、妾はもうそんな時は非道く疲れてゐて實は客の名なんかどうでもよいことなのだ。煙草に燐寸をつけてやりながら、「貴姓?」といふのが一つの仕事なんだもの―

蘭芳はこの男がいつまでも自分の名を覺えてゐて土鼠のやうにひよこ〳〵と貌をのぞかすのに空吹く風と濟まされぬものを感じる。身體にだけ狎合つてそれで充分に安心する踏薄なつながり、心情の通はぬ片言まじりの言葉を交してあかす一夜の愛情には體は許せても、魂がちぐはぐな夢の間隙を彷徨つてとても疲れるのだ。

「あゝ、あゝ、あゝ」―蘭芳は壁鏡に向つて帶をときながら、かくて一日を見おくる眩暉のやうな陀びしさに叩かれる。焦慮も感じずに、仕事を續けるやうになつたら一人並だと鄭が言つたつけ。ふふ…鄭の爺さんさぞ氣落がして睡つけまい、だが妾の知つたことか、あゝ、あゝ。

怎うした? といふ顏付の男に、「不要心、なんでもないのよ、睡くなつちやつたのほほほ…」、蘭芳はさも可笑しいといふ樣に聲を立てて笑ひ、灯りを消すのだつた。

白牡丹のそりかへつた葩に月が照り泌んで光明的な寂かすぎる晩である。灯を消すとひろびろと明るくて身のめぐりがたよりなく感じられる。

「妾の足冷えてるでせう。そう思はない?」

蘭芳はせかせかと一人で言ひ、すると、何だか今の先までの自分と打つて變つた浮氣が這ひ上つて來るのを覺えた。客のない夜は決つて樓主の鄭に抱かれねばならなかつた。脂肪のたまつた老人の體には透つてくる十九の女の纖細さが堪らなく氣に入るらしかつた。而し、蘭芳には何といふても自分と同じ位の相手の若さが、氣味よく安全だといふ思ひが深い。それで、毎日水々しい男の肉體を獲るために、眉黛を畫き、笑ひ、眼を皿のやうに据えるやうなものである。そのひたすらな力に、焦慮の涙の滴る程の安易さがなからう筈ぢやないか狸爺奴! 鄭のまへで双向へぬいとしい靑春を、かくて、蘭芳は袖觸れ合ふた許りの此の男に燃やすのである。

×

蘭芳は目を覺した。まだ窓明りは暗くて、夏といへ冷える朝あけであつた。豆腐賣の聲が聞こえてきた。それが彼女に、天津にゐる戀人を思出した。（あゝ草雨田!）女の知つてゐた頃の草は朝夕豆腐を擔いで歩いた。せつなく忌やな寒氣がし、男の名を呼び乍ら女は身悶えした。喉まで上つて來た聲が何度も胸に蟄つた。あゝ、草雨田! 永久に忘れられない戀人への聯想が蘭芳には蝸牛の殼の如く曳かれるのだと思つた。齎殘りの豆腐を夕方になると持つて來て置いていつたあの靑年の心の丈は、もう今では自分などには計量出來ないことなのだ。眩しく、高く見上げる男の生長が、蘭芳には一番の苦慮である。別れてもう二年近くにもなる。半月前に書いた何度目かの手紙の返事もとう〳〵又來なかつた。刻か、明日が、又少し二人のひらきに割入るだらう。焦慮も感じない女の生活を草はやすやすと輕蔑し、びん笑したのであらうか。然し乍ら蘭芳は鄭の寢室に入る代りに斯うして穩かな安息を希求する切實さを思はぬわけにいかぬのだ。而し草雨田、女の地獄の底のせめてもの安らひを男のあなたが知るはずもない、妾はあなたを非常に邪推した―それから私は今夜は非常に澤山なことを考へた。あゝ、あゝ―蘭芳は極度に疲れ切つてゐる四肢のゆるびをいちじに感じた。戀人に對する根限りの綱も明日はまた已れ細ぼそと痩せるだらう。しきりに睡氣がした。いつの間にか明け放れた朝の部屋に、蘭芳は睡つてゐるしづかな男の懷に首をつっこんで睡入つて仕舞ふのだつた。

般若心經（三）

文日「三世諸佛」

鹽谷壽石

雜草俳句會詠草

○ 安騏
囀りの樹々を映して湖はるゝ
雜木山に日のあたり來て囀れる
軒の籠囀りやみて暮れにけり

○ 靜盧
畑中の湯宿一軒春の雨
石鹸玉垣の內には病む子あり
櫻餅皮を重ねし蒔繪盆

○ 南風
籔深き朽葉も濡れて春の雨
交々に峽距てゝ囀れる

○ 石菖
春雨やうすあかりして花低し
行きずりの人なまめくや春の風

○ 春塘
石鹸玉日向の壁を移りゆく
山着干す竿の眞上や囀れる

○ 松魚
囀りや目に泌む程の若芽垣

○ 雪村
春雨にくつきり白き踵かな

○ もみぢ
かすかなる音に消えけり石鹸玉

○ 告天子
クリークと藪ある村や囀れる

○ 晴二
しやぼん玉日陰を出でゝ煌きぬ

○ 勝司
石鹸玉玉蟲色に光りけり
石鹸玉あとから續く小粒かな
移民團の花嫁隊や春の風

○ 紅二
杣の行く山裏路や殘る雪
のぞき見る母も映りて石鹸玉
白松は塔より高し囀れる（萬壽山）
傘に映ゆるネオンの影や春の雨
この宿の天日茶碗櫻餅

爆撃機

狂人の双物沙汰

新京新聞學藝欄に苦言―とか言ふ標題で、嘉村俗三とか言ふ大先生が、二三日前の大新京日報學藝欄で、特に新京日日新聞學藝欄のだらしなさを吼え、大內並に近藤（僕は近東だから他の人かも知れぬ）を指名して、身邊の寢言ばかり書くだらしない奴と片づけて居られる。壯なる哉! 大新京日報の學藝欄が如何に作品に缺乏すればとて、こんな狂人文章をのせるとは思つてゐなかつたし、特定の競爭紙と、特定の個人を、何等裏づける理由なしに攻擊した文章を平氣でのせられた態度に對してだけでも恐れ入つてしまつた。

僕は身邊の寢言ばかり―呼ばはりをされても、些の痛痒を感じないが、嘉村俗三と言ふ男恐らく文學マニヤと稱する大天狗で、ロジックも通らぬ舌足らずの無內容文章で、矢鱈と他人を傷けたがるウルトラ君であるらしい。ウルトラ君など問題でないが譯の分らぬ攻擊文を平氣で掲載した（あの文章が二段野卷きは恐れ入つた）大新京日報學藝欄子の意のあるところが伺ひたいものである。僕個人への攻擊など問題にする程暢氣に生れて居らぬが、大內隆雄にしたところで、學藝欄の飜譯連載『官場現形記』を毎日努力して譯出してゐる、生中知りもせぬ他人の痛氣を氣に病んで、見當外れの狂人の双物沙汰は憫笑の限りで、苟くも他人を許するならば今少し眞面目に、責任のある筆法を以てして貰ひたい。掲載するにしても同樣以上の責任を要求したいものである。（近東綺十郎）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△正金週報（第十五號）「米貨公債の外國取扱振り」「米國議會に現れたる外人登錄と外人送還法案」「英國に於ける郵便貯金の增加」外に時事、統計等（東京市日本橋區本石町一ノ六橫濱正金銀行調査課）

△旅行情報（四月十一日號）「滿鐵旅館券を廢しJ・T・B鮮滿團體用旅館券取扱開始」「旅順戰跡見學順路並に乘物」等（大連市伊勢町五四、ジヤパン・ツーリスト・ビューロー大連支部、二錢）

△新聞之世界（四月號）R・D・ブルーメンフエルド「寫眞新聞の發達、一」は英國に於ける實際を語つてゐる、大和生夫「記者倶樂部の想出、三」は歷代內務大臣を語つたもの「明治先覺記者傳」は「日新眞事誌」のJ・R・ブラックについて記した興味ある讀物（大阪市旭區北淸水町九四八、新聞之世界社、五十錢）

△滿鮮（四月號）黑百合生「統計上より見た滿洲の鮮農情況」田中國益「滿洲に於ける洋灰工業と將來」「社會の視聽を集めた奉天會館問題」等（大連市須磨町六、滿鮮社、五十錢）

◇學藝消息◇

△東京に內山書店支店設置　上海內山書店では專ら上海出版の支那書籍雜誌類の取次を行ふため東京市外千歲村下祖師ヶ谷一一七に支店を設置した

官場現形記（40）

李寶嘉作　山泰裕譯

▼第四回の五▼

夫人も傍から黄道台をひとしきりなだめた。それで黄道台はやつとだまり込んだ。それから日を選んでお祝ひをやらうと言ひ出した。局の方は錢さんに頼んで用意して貰ふことにした。やつぱり前に定めたのと同じやり方でやる事にした。黄道台もそれを承諾した。直ぐに日を選び、明後日から始めることにした。戴升は出掛けて錢典史に通知した。やつぱり第一日は署內の者で、翌日は局の連中で、三日目は贊務處の連中でやる事にして種々準備をやつた。

やがてその日となると、晝前から前回のあの芝居のマネチャーが公館へやつて來た。先づ戴升に會つて言つた。

「旦那サン、この前やつちまつて置けば良かつたですよ、損したのはこちとらでさア、あつちこつちと又役者探しをやりましたよ、それは大人の御命令ですからねえ、こつちの收入なんて小つちやい事です、まあお顏を立てなくちやねえ。この前どうです、途中から雷が落ちたやうなもので、もう芝居は止めだ!つといふお話でせう、あの時はわたしびつくりしてしまつたですよ、まるまる百二十四弔損しましたよ! おかげでもうズボン一つ殘してみんな質屋に持つて行かなきやなりませんでした、ま今度幸ひ又御言ひつけがありましたから、こりやこつちの顏を立てゝ下さつたもんだと、けんめいになつて奔走したわけですよ、旦那、まア考へて御覽なさい、今度の組では一人は老生で一人は花臉です、それから小役が一人衫子が一人です。みんな咽喉のいい奴でして、第一等級の名の通つた役者です。老生は賽菊仙といひます。花臉は賽秀山といひます。小生は賽素雲です。衫子は賽怡雲です」

戴升は言つた。「みんな賽ばかりか。サイ比べといふわけかい?」

マネヂャーは慌てて言つた「これは、その江西で有名な〝四賽〟なんですよ、誰だつて知つてまさあ。まあやらしてみて下さい、さうすりやお判りになりますよ、わたしがでたらめを言つてるんぢやないことがね。」

戴升は又言つた。「うまく唱へりや、何も文句はつけんよ、唱へなきやだね縣の役所に突き出して鞭刑三百ぐらゐにしてやるぞ!」

マネーヂャーは答へた。「うまく唱へなくてもですな、この大旦那はおゆるし下さいますよ、ましてうまく唱へりやですなあ、そりやはんでも判つてゐますね。ただ大旦那が一言仰言つて下さりや、それ以上は望みませんよ。まあ金庫の中から元寶を二つも私に下さつて、前回の損を償つて下さりや、もう文句しなですよ。」

「金は主人のものだ、主人の手にあるぢやないか、おれがお前さんによけいやらうと思つた所で主人が承知しなきや仕樣がないよ!」（つゞく）

マラリヤ様の傳染病 再歸熱患者出る
富士町居住佐藤惠美子さん 直ちに消毒の上隔離

市内富士町六丁目二番地佐藤卯子さん長女佐藤惠美子さん（一七）はさる四日以來發熱し自宅で靜養中のところ廿三日午後六時血液檢査の結果法定傳染病再歸熱と確診、滿鐵醫院分院に隔離され自宅は大消毒を行つた、なほ再歸熱は新京には昨年は一人も發生せず本年も惠美子さんが始めてゝある、なほ再歸熱といふ傳染病は蚊、南京虫、蚤などの仲介によつて傳染される病氣で高熱（三十九度以上）が續く點はマラリヤ病に似てゐるが一週間位高熱を續けるのはマラリヤとは異なり二、三日おいて再び高熱が續き、放置すれば危險であると

楊司令匪 終焉に近づく

【奉天國通】日滿討伐隊に追撃されてゐる楊司令匪六百は桓仁縣境に於て討伐隊のため包圍され袋の鼠となつたが、廿二日午後一時頃〇〇機〇臺は楊匪の本據を爆撃これに大打撃を與へた

老長青匪を撃退

【奉天國通】廿二日午前六時頃蝌安縣治安隊二ケ連は同縣第七區馬蟻河に於て老長青匪約二百と遭遇、交戰三時間にしてこれを東南方に撃退した匪賊側損害死者五負傷多數

湯原縣の 鮮人部落に匪襲

【ハルビン國通】三江省依蘭縣より當地第四軍管區司令部への情報によれば、十九日夜（湯原縣漢家屯）湯原縣城南方鮮人部落は匪首趙志の部下二十數名の襲撃を受け男子十三名殺害され家屋は全部燒却された詳細目下不明

新京日滿教育聯合會 幹事會開催

日滿教育聯合幹事會は二十三日午後一時より三笠小學校に於て開催された、之れよりさき新幹事の推薦を行ひ滿場一致拍手を以て錦ヶ丘高女校長青木昌氏、室町校々長荒井信行の兩氏推薦され、協議事項に移り左の事項を決定し四時散會した

▲決定事項

宣詔記念日滿學童聯合學藝大會

日時　六月六日午後一時より

場所　八島小學校講堂

▲參加學校

日本側　中等學校初等學校（十四校）

滿洲國側　中等學校初等學校（二十三校）

無許可建築を 國都建設局取締る

春と共に國都の土建界も漸く活氣を帶び各方面の工事が開始されたが鐵道北の工業地域方面に於て最近建設局長の許可を得ず家屋を建造するものが續出してゐるが、右に對し國都建設局は建設計畫區域内の土地使用制限（敎令第八十九號）に抵觸するものとしてこれ等不法建築施工者は嚴重處罰を斷行する旨の警告を發してゐる

因みに建設計畫區域内の土地使用制限に關する件の規定する違反者の處罰は左の如くである

國都建設局長若くは新京特別市長の許可を受けずして其管理する土地又は建造物を使用したる者は拘役又は二百圓以下の罰金に處す

大正寺を種に 怪僧侶の 寄附募集

最近公主嶺の日本人街に怪僧侶が現はれ自分は新京曙町の大正寺から參つたものだが同寺で近々に一千年大祭を催すので御志だけで結構ですから寄附をお願ひしますと言葉上手に一圓、五圓と強要してゐることを公主嶺佛心寺から大正寺へ來信があつたが大正寺では一千年祭など何の計畫もなく目下寄附金を募るやうな事業もないのでこれは全然同寺の名を借りて寄附詐欺を働いてゐる生臑坊主の仕業と見られて大正寺でも大いに迷惑してゐる、なほ犯人は四十七八才格好の邦人で正月ごろ公主嶺附近で托鉢して廻つてゐた男である

室町校の 修學旅行

新京室町小學校の本年度修學旅行は旅大方面に赴くことゝなり六年生七十五名は井田、重國兩訓導に引率されて來る三十日午後二時新京驛を出發するが歸京は五月四日の豫定

主金横領捕はる

さる十五日午前十時ごろ特別市興安大路興亞印刷所使用人池尻寛城（二二）は中央銀行から五百九十五圓の爲替の引出しを命ぜられたのを奇貨に右拂戻金を横領逃走したが二十三日午前十時ハルビン領事館警察署員に發見逮捕され身柄は本日護送された

室町校父兄會 總會

新京室町小學校では二十三日午前十一時より同校講堂において全職員參列し父兄會總會を開催したがこれに先だつて父兄一同は第二時限目各學級の授業を參觀した

派遣部隊の第二次行賞
九月より調査開始

【東京國通】滿洲及び上海事變に關する第一次論功行賞は昭和九年三月卅日現在とし同年四月廿九日附を以て既に發表し大體五月中旬頃完了の見込みである

昭和九年四月一日以降に於る滿洲派遣部隊將兵に對する第二次行賞に就ては改めて標準を決定し今年九月より調査を開始し近く發表する豫定である

大連港內で 照國丸衝突 支那汽船沈沒

【大連國通】廿三日午前六時五十五分頃原田汽船所屬瀨戸内海大連航路客船照國丸（三五八八噸、船長安藤忠一氏）は船客八十三名、貨物千七百二十九噸を積んで植松パイロット指導の下に入港第二埠頭突端にさしかゝつた際同埠頭十五番バース繋留中の中國萬泰公司汽船萬泰號（肇興公司扱ひ六百九十六噸、船長橋爪孫次郎氏）の左舷後檣附近に殆んど直角に喰込み萬泰號は見る間に浸水し同七時二十分全く沈沒した、一方照國丸は船首を僅かに損じたのみで浸水はないが大連港始まつて以來の大椿事として海務局をはじめ關係各方面では本事件を重視し、被害、原因その他に關し直ちに詳細なる調査を開始した、尚照國丸船長安藤忠一氏は大阪に於て、植松パイロットは大連に於て近く海事審判を受ける管である

新京の簡閲點呼は 七月十一日開始

本年度關東軍簡閱點呼は七、八月に亘つて執行されるが新京は七月十一日及び七月廿九日から八月十日まで二週間新京駐屯歩兵〇隊（平安町四丁目元軍司令部跡兵舍）で行はれる、執行官は關東軍兵事部長山本大佐及び野副中佐の兩氏、新京署兵事係では從來點呼該當者の住所異動屆出が不確實なもの相當あるから本年からこれが絕無を期し昨年十二月既に內達をして注意を促してゐるにも拘らず屆出未了者多數ある模樣で未屆者は早く屆けられたいと

興凱湖、小興凱湖 魚類捕獲 申請許可

圖們の下釜寛三氏外三名は豫て實業部へ申請中であつた興凱湖及小興凱湖の魚類捕獲に關し四月二十二日指令を以て本年四月より向ふ五ケ年間許可されたが右申請人は近く地曳網、壺網、延繩等を用ひて大規模にとりかゝる事となつた、同湖には鯉、鮒、目、張鮫、鰡、白魚、鼈（スッポン）等が棲息してゐる尚斯種漁業は今回が始めてゞある

ウツカリ飲食出來ぬ 新京の酒や料理
廢棄を命ぜられた店が此の通り

廿二日に施行された飲食物一齊取締りで腐敗せる飲食物、混濁洋酒の廢棄處分をうけた主なる店としては

▲罐詰類大和通り五十四番地ノ二食料雜貨商森川商店▲大和通り四十七番地食料雜貨今田商店▲曙町二丁目十二番地吉田佐一郎▲洋酒類市場內和盛德▲カフエー松竹▲バーバッカス▲亞細亞會館▲リリー▲美人座▲マスコット▲カフエー初音など

旅順高女同窓會

旅順高等女學校同窓會新京支部では來る二十六日午前十一時から白菊會館で總會を開催するが通知洩れの向もある模樣で會員は誘ひ合せて參會されたいと、會費は一圓五十錢當日持參又は平安町二丁目八號ノ三石田幸方まで申込まれたいと

早大に凱歌 對慶應一回戰

8A—4

【東京國通】特殊の興味をもつ傳統の早慶戰は早大渡米送別試合の名目の下に廿三日午後一時卅五分から神宮球場で慶應先攻で擧行された、豫想の如く若原、中田の對峙で華々しい一騎うちが展開され、場內は興奮と熱狂でどよめいたが、結局八A對四で早大の勝となつた、閉戰四時卅分、スコア左の如し

早	0	0	0	4	1	0	0	3	A
慶	0	4	0	0	0	0	0	0	0

4—8A

第一次春季競馬 二日目成績

▲第一競馬（一、八〇〇米、八頭）

××××××××××××

增上寺岩井大僧正 六月中旬に來京
戰死者弔靈大法要を行はん

淨土宗本山東京芝增上寺管長岩井智海大僧正は老齡にもかゝはらずかねてから滿洲國建國のため貴い犧牲となつた數萬の英靈を弔ふべく滿洲國訪問を希望してゐたがいよいよ來る六月八日ごろ京都發大連經由で來京、新京に於て弔靈の一大法要を營む事となつた

××××××××××××

春・こ・も・な・れ・ば（完）
射倖とスリ・ング 彼女等は競馬狂
當つた〱大がらの夢物語

「ねツーさんいゝでしョ。ヒナマルさんはイーさんに、ダリアさんは、そらあのマーさんとね……みんなゆくんですもの」

「一寸顧みとれんが何のことかね？」

「カンが悪いわネエこの人つたら……そうら明日のアレ競馬よ、ネ、約束してよ……」

「よし行く」

今からでもおそくはない、覺悟をきめたのは電話を受けた通稱ツーさんだ早速資金工作にかゝつた

〃春爛漫觀櫻大會開催〃 來りて美女給の甘杯に醉へ！

造花ネオンをこきまぜてホールは春のさかりなりといひたいが、トタンに醉あり

「な、なんだとこれが櫻だつて、馬鹿にするなつてんだゥイッ、咲いた櫻になぜ駒つなぐ……か」

女が「うん」と言はないので女に逢ふ毎につい切なくて此の青年は呑めもせぬ酒を無理して呻るのである、青酸加里をナメルのよりはまだましだが、幾分でも〃酒は涙か溜息か〃の心に慰められたいといふ型はフルイ・醉つた口で一寸は強い事も言つては見るが案外素直な青年には運びない

「ネ。あんた十圓なんとかならない」

「……」

「でも私困つてゐるのよ」

青年はドキリとしたらしい顏をした

「まさか君は……」

近頃貞操のダンピングつていふぢやないか

「疑つてゐるの、あんたは？妾競馬にゆきたいの、ガラでもうけて春着の一枚も造らなきやツマンナイワ」

「あゝその方の十圓カ」

「知つてしまへばそれまでか……」二人の心が融け合つたと思ひ給へ

競馬の掛け醍に浮かされて大事な職場を拔け出したと言ふ譯で課長から首にならうとした青年があつたが馬すきの重役さんに救はれたと言ふのも競馬シーズンの出來事である

×

明くれば紺碧一色、サア行かう、競馬だ！競馬だ！かほる春風マーチョー呼んで青バス重いぞぐん〱飛ばせ、國都の春は新京賽馬の開幕とともに訪れ、最高調に春が熟れるのである、南廣場は電々管理局前停留所にこんな新しい標札が立つた〃今春から皆樣の御便宜を圖りこゝを發着致します〃これも競馬ファンに有難いニュースだ、初日二十二日の入場者數は約二千人、馬券の總賣上高は三萬一千十五圓、これを一人平均に見ると實に十五圓、どうです、待ちに待つた春競馬ですもの、新京人士の神經が感情が如何程この廻り來つた春の寵兒に狂喜興奮してゐるか窺へるでせう

×

坦々たる黑土の馬場に、ほろ〱と四月の陽が降つて地平の彼方には白雲が夢の樣に湧く、一ぱいはいつた黑い人垣あゝでもないこうでもないと勝敗の見透し難いと言ふ新馬についての長談義に春の空氣がしきりにさゞめいてゐる、物凄い醫者の數だ、アあれはダンサーの群れだ、女給だ、免角女が目につき安いものだが、おそらく全體の二割位は女、女なんだから驚くじやないか

×

長い〱競走路が續く、春空高く嘶くは何れ劣らぬヒイキ〱の苦駒だ、サア時はよしいましも並んだ八頭の馬、サツと一齊に火蓋は切つて落された、浮き立つ腰、喚聲々々あゝ春風截つて追ひつ拔かれつ飛ぶ春駒に一攫千金の競馬狂がこゝを千途の無我境なんだ、一瞬の興奮はハタと靜止「バンザーイ〱」「メイフアーズ」悲喜交々の表情、たんまりモウケタ人、スッタ人、人、人輕い歩どりに、うつむき加減の人々が、雪崩の樣に去つてゆく、儲けた男は何處へ？すつた女は何處へ？わたしは知らない、何故つて、夢にも馬のいななきを聽くといふ御連中には筆者は加つてゐないので……（寫眞はガラの發表に春めく群衆）

1生花（二分三五秒四）2快々3寶石駒、配當ー單五圓三〇、復1四圓六〇2五圓二〇3五圓〇〇、搖彩票1七七圓五〇2二二圓一〇3一一圓〇〇、等外五圓五〇

▲第二競馬（一、八〇〇米、十一頭）1丹友（二分三八秒一）2金順3双葉、配當ー單一四圓六〇、復1六圓四〇2六圓二〇3八圓九〇、搖彩票1一〇四圓八〇2二九圓九〇3一四圓〇〇、等外四圓六〇

▲第三競馬（二、〇〇〇米、十二頭）1風光（二分五九秒三）2有田3惠六、配當ー單一二四圓、復1一五圓九〇2一一圓3九九圓三〇、搖彩票1一四七圓八〇2四二圓二〇3二一圓一〇、等外五圓六〇

▲第四競馬（一、八〇〇米、五頭）1早雲（二分三六秒一）2新遠3新長、配當ー單七圓三〇、復1五圓八〇2六圓五〇、搖彩票1一三八圓二〇2三四圓五〇、等外一四圓四〇

▲第四競馬（一、八〇〇米、五頭）1早雲（二分三六秒）2新遠3新長、配當ー單七圓三〇、復1五圓八〇2六圓〇〇、搖彩票1一三八圓二〇2三四圓五〇

▲第五競馬（一、六〇〇米、十七頭）1蓼（二分二〇秒四）2新京輝3玄武、配當ー單八圓一〇、復1六圓四〇2三圓六〇3一四圓九〇、搖彩票1二九五圓六〇2八四圓四〇3四二圓二〇、等外七圓五〇

▲第六競馬（二、〇〇〇米、十頭）1金勇（二分五一秒）2英貴3丹生、配當ー單五圓八〇、復1四圓八〇2一六圓九〇3五圓四〇、搖彩票1一七圓〇〇、等外二圓一〇

▲第七競馬（二、〇〇〇米、八頭）1瑞陽（舊名大連玄海）（二分五八秒一）2勝3蘆谷、配當ー單六圓三〇、復1七七圓三〇2七七圓三〇3八八圓、搖彩票1四八三圓九〇、等外三四圓三〇

▲第八競馬（二、四〇〇米、五頭）1旭正（三分二三秒）2新鷹3新薫風、配當ー單六圓五〇、復1五圓二〇2九圓二〇、搖彩票1三〇圓、等外三二圓

▲第九競馬（一、八〇〇米、五頭）1惠七（二分三九秒三）2開進3鳴海、配當ー單九一圓、復1二一圓三〇2一二圓四〇、搖彩票1五九一圓、等外六圓

▲第十競馬（一、八〇〇米、十三頭）1有光（二分三三秒三）2若竹3尚勇、配當ー單一五圓、復1七圓三〇2一三圓、搖彩票1一七圓六〇、等外二圓

▲第十一競馬（一、八〇〇米、五頭）1長春（二分三九秒三）2三河3川內、配當ー單五九圓、復1一五圓九〇2一一圓七〇、搖彩票1五六圓、等外一〇圓

▲第十二競馬（一、八〇〇米、十八頭）1北靈（二分三七秒二）2春駒3黑龍、配當ー單四五圓、復1九圓八〇2八圓、搖彩票1一〇圓九〇、等外一圓

▲第十三競馬（一、六〇〇米、十七頭）1逸（二分一九秒四）2清柳3三初、配當ー單一六圓、復1五圓八〇2五圓、搖彩票1二九七圓、等外二〇圓

▲第十四競馬（一、八〇〇米、十一頭）1靄（二分三六秒三）2新京3響大風、配當ー單二七圓、復1八圓〇〇、搖彩票1六圓〇〇、等外七一圓

探偵小説 殺人技師

(舞臺上映上演)

森下雨村

茅場榮水 畫

七八

絹代の活躍(六)

その時、絹代は何を思ひ浮べたかといふに、

——耕ちゃん、向ふの部屋へ行かうぢやないの——。さういつてあの女が、たつた今、この部屋で呼びかけた連れの男。

さうだ。あの男！。あれが内海耕太郎なのだ！

さう思ひつくと同時に、彼女ははつきりと相手の顔を思ひ出してゐた。いつか非常公園で、自分たちの話を盗み聞いた男。そして證據の寫眞を買とつて行つた男。——さうだ、正しくあの時の男の顔だ。

『分りました。分りました。内海耕太郎といふ男は、この邸の中にゐるのですわ。』

絹代はさう叫ぶと一緒、もうその部屋から跳出してゐた。廊下を奥へ走ると、左側に細目に扉の開いた部屋があつた。確かに中で人の氣配がする。この部屋！さう思つた瞬間、絹代はもう前後の考へもなく、扉の中に跳りこんだ。

が、一目、その部屋の中にゐる人物を見ると、彼女は思はずあつと叫んで、そのまゝ釘づけになつてしまつた。

部屋の中にゐた女は、絹代の跳びこんで來た物音に、ゆつくりと扉の方を振返つた。

しかし、一目相手の顔を見ると、讀みさしの雑誌を、思はずぽたりと取落とした。絹代もまたその女が何者であるかを知ると、勢ひをくじかれて、たじ／＼と二三歩後へよろめいたが、急にその瞬間には、憎悪と敵意が、炎のやうに燃え立つて來た。

『あの男はどこへ行きました』

『あの男つて？』

陶子はとぼけたやうな顔に、嘲りの微笑を浮べて、わざとゆつくりと踵を返した。

『内海耕太郎です。確かにこの邸にゐる筈ですわ。』

『内海耕太郎ですつて？知りませんね。そんな人。』

『お黙んなさい！』

絹代はつか／＼と陶子の傍へ寄ると、顔をくつつけるやうにして相手の眼の中をのぞきこんだ。

『どこへ隠しました。さあ、さつさと出して頂戴！』

『まあ、あなたは一體、何のことをいつてゐらつしやるの。一人で——。』

絹代は落ちつきはらつた相手の様子を見ると、口惜しさがむら／＼とこみあげて來た。

『さつき應接間にゐた男です。若い女と一緒に——。』

『あゝあの人——、あの人なら保科さんを訪ねて來たのでせう。もう歸つたのぢやありません？』

『いゝえ、まだ確かにこの邸の中にゐる筈ですわ。』

『さう、それなら勝手に探したらいゝでせう。』

絹代はその美しい顔をかきむしつてやりたいやうな氣がした。しかし、今はそんなことで、時間を潰してはゐられなかつた。

彼女はぐいと肩をそびやかすと、急いで部屋を出ようとした。しかし、その時、いち早く陶子が扉の前に立ちふさがつた。

『あなた、このまゝこゝを出てゆくおつもり？』

ゆつくりとしたその聲音には、あらゆる嘲りがこもつてゐた。しばらく二人の美しい眼と眼が、たけ／＼しい雌豹のやうに睨いた。絹代の顔は屈辱のために眞青になつてゐた。

『お退きなさい！』

絹代が命令するやうにいつた。

『いゝえ、このまゝではね、それが近頃のお嬢さんの禮儀といふものなの？』

『お退きなさい！』